



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/27(水)

今日は、どうもありがとうございました。私は、義三さんの一日一日を見聞して、原爆が落ちた時の気持ちがこんなに悲しくて、つらいものだったのだと改めて知りました。ネットや本では、生々しい写真や言葉の部分を見ませんでした。けれど、今日の話は、聞いた時にゾッとするような言葉で今の人達は、想像もできない様子だったのだと、強く感じさせてくれました。本などでは分かりやすい言葉まとめて書いてあったりなど正直その時の苦しみがいかに分かりませんでした。今の私達に戦争や原爆のおそろしさを伝えてもらい、絶対にしておけないものだ"とよく分かりました。自分が義三さんの立場で人を助けてあげられなかったら、どんなに苦しいかを想像して、心が痛くてよりました。3分間のビデオでは、落ちる直前、落ちた時の人々の様子、原爆の広がり...をくわしく学ぶ事ができました。また、男の子が必死にお姉ちゃんを助けてほしいと言う気持ちが軍隊の人々は、強く感じ自分も大変だ"けど"人々を助けられるのなら救いたい"と思ったからやさしく手当ををしてあげられたのかなと思いました。今、戦争や原爆を伝えていく人が"少なくなってきた今、このような体験をして、自分達が伝えていかなければいけないのだ"とよく分かりました。今日の話で自分の調べたい事を見直して、下級生に伝えるような発表にできるよう頑張ります。今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、私たちに貴重な体験をさせてくださり
 ありがとうございます。原爆について、私は
 たくさんの方が亡くなったとしても高温になったこと、そ
 てまた原爆症に苦しんでいる方がいることしかわからなかった
 ので、先生の授業を楽しみにしていました。お話を聞き
 ながら私はその場面を想像していましたが、義三さんが
 広島市中心に向かうところ、正直にいうとしてもこわくなり
 ました。私が義三さんだったら、私が広島市にいた人
 だったらと思うと、言葉にあらわしかたいような苦しい気持ち
 になりました。けれど、私は、日本国民として、日本であつた
 事を知るべきだと思ひます。でも、知識は知るほどつらい
 気持ちになりました。と同時に、戦争の無情さに対して
 怒りの気持ちもおこりました。とてもおそろしい原爆
 そのことは世界中が知、てゐることなのに、海外では何個
 もの核兵器があること、また一瞬で灰になつてしまふ命が
 できてしまふかもしれないと思ひ、いてもたつてもいられない
 気持ちになります。最近では北朝鮮も核兵器をつ、てゐます。
 日本人、ぶつた、原爆のおそろしさは忘れられてしまふ人、で、しょうか。
 私は、それだけは大、めだと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、原爆先生の貴重な話を聞かせてくださりありがとうございました。池田義三さんの思い出したくない原爆の体験談を特にくわしく聞かせてもらいました。その中でも人の死んでいく姿を見たと言ふ事におどろきました。ぼくはたった一日中泣いて仕事なんかとてできない状況におちいってしまうと思います。その時の池田義三さんと五才ばかりがわかないのに大人でも前が暗くなってしまう原爆の被害をのりこえられた事にとてすごいと思いました。また「原爆」という一つの爆発で何十万人の命が尊い命をうばわれる、この事は何かあっても決してやってはいけない事だと改めず石確信しました。今は世界各国で様々な核兵器が生産されています。まじや今回の広島の数倍もの爆発力を持っている核兵器を持つ国、この現状を今を生きているぼく達がしっかり理解をして今日から興味を持た事を一つ一つ調べようと思います。そして池田義三さんとその他の原爆体験者達の思いをくみとり、人の尊い命を大切にできる大人になりたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1 / 27

ぼくは、この授業で原爆から身を守る厳しさを学びました。広島に投下された原爆は「リトルボーイ」は表面温度は太陽よりもあついで7000℃衝撃波の速さ毎秒440mの物が落ちてきました。このような物が落ちてくるとは想像も出きません。池田義三さんは原爆が落ちたところの現実を知っています。原爆が落ちた付近は、全面焼け野原で、人が黒いかげのしみのように became. それに、池田義三さんは、皮がめくれている人や全身真赤になった人を何十人、何百人と見て「父ではない」と言っています。その人達を助けたい思いがあっても、見ることしかできない池田さんの思いを知って、心の中ではわけがわからなくなってしまうのだと思いました。この話から、ぼくは戦争のことを調べていても、本当に体験した人の思いは、知りませんでした。このことで体験した人の苦しみや複雑な思いを知ることができました。戦争を体験した人は、そのような出来事は思い出したくないと思います。このように授業で体験した事を教えて下さりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は本当にありがとうございました。話を聞いてみると、知らないことがたくさんありました。現実には私の想像をはるかに超えるものでした。見たり聞いたりするだけでふるえてしまうような写真や話。でも実体験をした人はもっともって怖くて辛くて悲しい思いをしたことでしょう。原子爆弾の爆発で、体中が焼けて皮膚が垂れ下がり、さわっただけで皮がはがれてしまう。そのような人々を再現した人形を見て、ただ一言「きれいすぎる。」と言った義三さん。生々しいその人形もきれいなのです。実際はもっとひどい状態で、もがき苦しみ、助けを求める人々がたくさんいたのでしょう。体験した人にしか分からないおそろしさがあるのだと思いました。この授業を通して、私は原爆のおそろしさを始めて知りました。本当にはじめてなんです。今まで私の知っていた原爆の怖さは、本当の怖さではありませんでした。今でも知らないかもしれません。体験した人だけが知るおそろしさがあるかもしれないから。でも今までの私より授業の後の私の方が、原爆の怖さや原爆のもたらす悲しみを知っているはずだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、お忙しい中、私たちに原爆のことについて
教えてくださいありがとうございました。

私は広島長崎に原爆が落とされたのは知っていた
けれど、まさか、そんなにひどい、たとは知りませんでした。語
を聞きながら、頭の中でその時の場面が浮かんできました。と
ても顔をそむけたくなるような場面も、いくつも浮かんで来て、頭が
痛くなったりしたけど、その場所に実際にいたら...と思うと、義三さん
はすべしと思いました。また一瞬で人が死ぬなんて考えもしませんで
した。

原爆が爆発して、球形になった時にその周りの温度が太陽
よりも熱い、7000℃になるなんて、とてもおどろきました。そんな温度
になるものを人が触らなくてもおどろきました。人工の太陽みたいな
ものだと思います。また、60kgのうち、1kgが爆発しただけで、
広島の方がなくなるなんて、60kgも爆発したら、広島県どころか
その周りの県まで被害が及ぶと思います。他にも、スカイツリーの
高さまで太陽が来たり、人が、一瞬で炭になったり、白粉化した
りするなんて、思いもしなかったから、とてもおどろきました。また、男の人
がすわっていた所に、なにかの染みのようなものが残っていた
と聞いて、その染みのようなものはなんだったんだろう、と不思議に思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて戦争は、
してはいけなると軽い気持ち
で言てはいけなると思いました。
原爆を落とされて亡くなった人達
を兵隊さんたちが9日間その人達を運ん
ですごくつかれたと思てたから軽い気持ち
で言てはいけなると思いました。
そして戦争をけいけんしている人は、今
ものすごく減っているので戦争を二度
をやてはいけなるといふことを
次の代に引きついでい昔のような逃げき
をおこなないようにしていけたらいい
と思てました。そして平和な暮らしをす
るために日本は、兵器をもたないで
いるか、ほかの国は、兵器をもっているか
かいつそらいうものをうてくるかおか
らないか、原爆先生の話を聞いて
ものすごくか兵器は、おきるいいとい
うことが実感できました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、いろいろなお話をしてくださりありがとうございました。言葉で表現できないほど悲しいというかひどいというか、なんとも言えない気持ちで見えていました。ぼくは、原爆の事については、あまり知らなかったけれど、実際にあった事として理解することができました。僕は、アメリカが、日本との戦争を終わらせるためにやったことだと思っていました。しかし、やったことはあまりにもひどいもので、大勢の人を殺すとはなぜ落したかと思いました。アメリカのやったことで、広島にいた多くの市民が、苦しみ、助けを呼んだ、こんなむざんなことをやったとは、ひどいというか、善悪のつかない人達だと僕は思いました。ぼくは、この授業で、広島、長崎に落ちた原爆のむごさ、またこのような兵器を持っている国を日本が必死で止めようとしている理由が分かりました。でもいまのままでは、この原爆の大むごさを外国の人に知ってもらうことはできないと思います。なので、僕はこれからもと原爆のことを知り、決して原爆を使わせなれと思ってもらえるようにしよう



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

今日はお忙しい中中村小学校に来て下さって、本当にありがとうございます。私は今まで、あまり戦争や原爆に興味をもたなかったもので、被害にあった人の様子を知りませんでした。「焼けたたれた皮膚とか「鴉口にかいたウシ虫」などを、話を聞きながら想像していましたが、やっぱり実際のものとはほど遠いのかなと感じました。

今日の話で一番心に残った言葉は、義三さんが言った「きれいすぎる」という言葉です。私たちがなどの被爆してない人たちにとっては、博物館に展示されているあのような人形でも十分恐ろしく感じるのに経験者にとっては「きれいすぎる」のだと知って、とてもおどろきました。

また、義三さんの目線で見ると、助けてあげたのに助けてあげられないことへのもどかしさも感じました。

原爆先生の特別授業を受けて、今こうして戦争がないことの幸せをあらためて知ったので、これから平和を大切にしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

今日、特別授業を受講して私は戦争のおろかさか改めて分かりました。特に印象に残ったのは義三さんが、資料館の人形を見て言った「きれいすぎる」という言葉です。私はこの言葉を聞いたとき胸が詰まりました。つらかっただろうなと思いました。文章や言葉で表すことができないほどのものがあったのだと思います。

太陽よりも1000度くらい熱いものが地上とすごく近い600mにあったということを知ってこわくなりました。一瞬にして人間や川の水がなくなってしまうなんて今まで知らなかったからです。原爆はこわくておそろしいものでだれも幸せになれないものだということが分かりました。原爆に対して怒りがわいてきました。たくさんの人を傷つけて生活を変えてしまった原爆が許せません。

戦争のことについて、戦争を体験していないので余てを知ることはできないと思いますができるだけ多くのことを知りたいと思いました。そして、大人になっても戦争のおろかさを忘れないうようにしたいと思います。少しの時間でしたが原爆について教えて下さりありがとうございました。とても良い経験ができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで、原爆についてあまり知っていません
 でした。しかし今回の話を聴いておそろ
 しさというものを感しました。生きてるのか
 死んでいるのかもわからない人を身がはたはた
 と、身が冷たい。それだけでモヤリ出来ない思
 います。死は怖い。それだけだと、反て聞か
 ずかおたりした。生死もわからない。ほと
 んど死んだ。神を見た友持さとい。のは、話をきいた
 だけでは想像かできるせん。それでも、自分かもし
 ることには、たうにげ、出たてたまりせん。それでも、
 遺体の処理を、を、し、かりと、や、た、人、は、ほと、ど、お、お、
 ら、しい、を、思、い、ま、す。重、油、の、ド、ラ、ム、か、ん、が、あ、た、こ、と、
 人、ラ、ッ、ク、か、あ、く、わ、た、こ、を、と、い、い、3、0、3、5、年、く、ら、い、の、世、間、が、重、
 な、て、生、き、の、代、わ、た、人、々、も、放、射、線、で、く、る、し、ん、で、い、る、
 人、々、人、々、の、友、持、ち、を、考、え、ま、す。核、を、何、千、何、万、と、
 も、つ、く、る、国、の、は、と、り、も、お、ろ、し、い、と、思、ひ、ま、す。と、も、に、
 こ、の、地、球、に、お、一、発、を、ま、し、し、か、ら、な、い、と、思、ひ、ま、す、
 じ、や、ま、す。其、原、爆、の、秘、録、を、思、い、や、り、持、ち、を、お、
 し、し、て、い、ま、い、と、思、ひ、ま、す。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、大切なことを教えてくれてありがとうございました。私たちは、総合の授業で原爆について調べていました。でも、私が思っていたよりも、ものすごく悲惨でした。一番、心に残っているのが、義三さんが言っていた「きれいすぎる」という言葉です。私は、その人形を見たときに、かわいそうとか、こんなにひどい状態だったんだと思っていました。でも、義三さんが言った「きれいすぎる」という言葉をきいて、これが本当では無いんだって思ったり、本当はどんな感じなのかとか本当の事を知りたいと思いました。また、トラウマの荷台に入をのせたくてものせがれっぽいのが本当につらかったと思いました。私は、知っているつもりでも、知らないことがたくさんありました。だから、実際に体験された方のお話を聞いたりして、もっとくわしく知りたいと思いました。原爆先生が義三のお話をして下さい、昨日まで知らなかったことも知ることができました。また、事実を知りたいと興味をもちました。バソコニとかたけで調べたりして、体験談から学ぼうと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の授業を受講して、さらに原爆
についての興味が深まりました。今まで調べて
きてそれなりの知識は持っていたつもりでした
が、まだまだ知識がないことを思い知りました。
池田義三さんのビデオを見たときの原爆の
本当のこわさや原爆を落とす場所の条件など
新しいことを知れてもっと興味がわいてきま
した。また、戦争を体験したいろいろな人の立場
になって考えると、その人の気持ちを知れな
りして、本当によかったです。

これから、戦争の本をたくさん読んだり
もっと人々の気持ちを知らることが大切だと
思いました。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回は、特別授業を講演してくださり、ありがとうございます。私は今回のことで、改めて原爆のこわさを覚えることができました。原子爆弾は、とても危険なもので多くの人の命をうば、てしまうことは知、っていたけどどのくらいの温度かとか、原子爆弾によ、て町や人体にどのようなえいきょうが出てしまうのか、原子爆弾によ、てどのくらいの人かたくな、ていたかは知りませんでした。また、池田義三さんの言葉を聞いて、トラックに乗、ていて、原爆のけが人を助けようとして、助けられなかったとき、義三さんは、助けたくても助けることができず、とてもつらい思いをしたのではないかと思います。また、義三さんが、女性の人を助けてあげて、いたとき、一人でも多く助か、てほしいという気持ちがあったから助けることができたのではないかと思います。私は今回のことで原子爆弾が落とされた場所には、いろいろな人の思いがあるのだと思いました。なので、その人たちの立場にな、たりして考えてみようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

ぼくは原爆先生の話を聞いて話に出たことをいろいろ想像してみました。一番想像した時にこれかなと思ったのは川やコンクリートのおけなどにある水の中から死体が出てきたという話です。原子爆弾によって建物だけでなく、川やコンクリートのおけの中にある水までふっとうして蒸発してしまう。原子爆弾はそれほど温度が高いものなんだと考えたらおもしろいとはかたまってしまいました。また、もし原子爆弾に入っている60kgのウランが全部爆発したらのもも考えてみました。まず、熱風によって建造物やコンクリートの家の骨組みまで全てがふきとんで衝撃波によって地面まで割れてそして広島市そのものがなくなってしまおうと考えました。

今回の原爆先生の話を聞いて、核兵器を絶対になくしたいという考えがとて強くなりました。また、話を聞いて学んだことは核兵器をなくしてもう絶対に戦争をしないということです。そして原爆によって苦しむ人をなくすということです。本当に今日は原爆のことをお話してくださってありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/27

今日は、原爆についてお話ししてくださってありがとうございました。私は義三さんが「きれいきる」と言ったので、とてもおどろきました。ろう人形を見ていないから分からないけれど、きくと見たらおもわずその場で「固まってしまう」と思います。けれど「義三さんの気持ちも分かる気がします。なぜなら戦場を見ているからです。死亡者を負っていくのもひと苦労なのに、さらにさまさまなにおいもある。とても苦労したと思います。私だったら「けだ」しているでしょう。それで「命令だ」からとやることかできてすごいなあと思いました。そして、そこで「け」なかったからこそ思うことが「できるんだ」と感じしました。さらに、他のセ「テ」オやお話を見聞きしてすごくゾッとしました。トラックに乗るために手をつかむと皮がむけてしまい...など」とてもゾッとする言葉を聞いてきくと義三さんもその話を聞いた原爆先生もつらかったと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は特別授業をありがとうございました。私は戦争について調べていますが初めて知る話ばかりでおどろきました。印象に残ったものは死体をつかむだけですが簡単に取れてしまうということです。その他にも、赤と青とむらさきと黒を合わせたような色の雲、「リトルボーイ」が落ちるはんいなど教えて頂きました。本で読んだ資料よりも実際に見た景色感情はとてつらいと思います。受講中見ていたビデオで人が原爆の熱風によって消えてしまうことが少なくはなかったことを知りました。私がビデオを見ていた時、私の中で原爆投下のシーンを考えていました。辺りが黒くなり、人々は人間らしさを失っている、等私から見てもとても残こくな世界でした。現代の技術でかく兵器をどの国も持っているような世界なのでかく兵器を無くして国どうしの争いも条約を結んで解決してほしいです。原爆によって被爆24万人、死者14万人と、五人中二人が亡くなるという被害が出ていました。原爆先生は、実際このような体験をされてとても苦しんだり悲しんだり、していたと思います。今日私は原爆先生の特別授業を受講して、一つの話から多くの物を得ました。そして原爆について興味を持ちました。今日の体験をして、個人的にも調べてみたいし、貴重な体験だったのでそれを生かしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は戦争の体験を聞くことが初めてでした。聞いた話は、自分で本やインターネットで言周るよりも、恐しく想像するだけでモゾツとする様な話でした。原爆で体にやけどを負ってしまい、助けようとしても、うでや皮ふがはがれてしまう人々の事を考えると、とても怖くなります。しかも、その原爆の影響で今も病気で苦しんでいる人達を思うと、戦争や争いは絶対にしてはいけないものだと感じました。

原爆が爆発した。その瞬間のたった一瞬で、一人一人の命が消えていき、姿形が無くなってしまった人々が2万人もいる事に悲しみを感しました。また、戦争が起こり、原爆が落ちてしまったために14万人という、多くの人々の命が亡くなってしまう事に、戦争を止められなかったのかと思、い物が苦しくなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は中村小で広島原爆の話をさせて頂きありがとうございました。僕は元々学校で広島長崎の原爆の被害や被爆者の想いなどを調べていました。調べている中で被爆者の体験談などを読んでいましたが、実際に聞くと、読むとは全く別のものだと、聞いていて思いました。話の中で、義三さんが元安川で死体を運ぶ作業の話聞き、その話を聞いている間ずっと緊張して聞いていました。そしてやはり爆心地付近にいた人達は絶対に助かりはしないと思いき、悲しくなりました。でも、その後奇跡的に助かった人の話を聞いて、絶対ではないということが分かり、少しだけ希望があると思いましたが、現実ではそんなうまくはいかないのが残念だと考えました。話の中で、義三さん率いる第2班の人達が被爆し、足にケガを負った女性を助けた話を聞き、あの時、第2班が通り過ぎていなければ、女性は助かっただけと思ったり、あらためて原爆とは恐ろしい兵器だと思ったりしました。また、今まで聞いた体験談を含め、全ての被爆者の話がもう絶対戦争としてはいけないと話していますが、その通りだと思いき、核兵器をこの世からなくしてほしいと思ったり



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/27

今回の特別授業を受講して、自分が聞いたことがある話よりももっと悲慘で、想像を絶する状態にあつたことを知ることができました。特別授業で原爆について知ることでもっといろいろな人の話を聞きたいと思おうになりました。原爆先生のお話の中で特に印象に残った場面は、戦争が終わって60年後にけがと原爆の後遺症で苦しんでいる女性から手紙がきた場面でした。女性が負った傷のお話を聞いているときは思わず耳をふさぎたくなりました。でも、そんな中でも女性を助けるというのは戦士としての強い責任感がないとできないことだと思いました。次に、手紙を読んだあとに原爆ドームにいたときに原爆先生のお父さんがいた言葉にぼくはびっくりしてしまいました。原爆先生のお父さんは被爆者の人形をみてきれいなまるといふそうです。原爆ドームの話を知ったことがあり、それを聞いたときは身震いをしていました。それだけで震えてしまうということは1945年8月6日の日はもっとおそろしいものであるということを実感しました。最後のビデオにあつた原爆先生のお父さんが涙ながらに訴えていることにぼくは胸をうたれました。過酷で地獄のような広島の中で、生々しく、身持する思くなる中の出来事を思い出したくないのに、してもらえて、すこく勉強になつたし、興味をもつことができたのでよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

この特別授業で私はとても衝撃を受けました。総合で私は原爆のことを調べていましたが、自分が知らないことがたくさんありとても勉強になりました。原子爆弾を落とした飛行機の名前が機長の母親の名前だったことや衝撃波の速さが音速より速いことにびっくりしました。また、死亡率が40%ということにも驚きました。原子爆弾に入っていたけい素の量が60kgのうち1kgしか爆発しなかったのに広島市が全て焼き付くさめてしまったのはとても怖いなと思いました。

また他の国で核爆弾を持っている国はたくさんあるので絶対に核爆弾を使ってはいけないということを後世に伝えて平和な世の中になってほしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/27

今日はありがとうございました。

私は、戦争のことについて調べていました。

本やインターネットで、戦争は、とてもつらくこわかった。

罪のない子どもや女性、たくさんの命がなくなると、書いてありました。

今日は、インターネットや本だけではわからないことを

知ることができました。私は想像しながら話を

聞いていましたが、想像できないことがたくさんありま

した。今日、話き聞いて、5人に2人くらいの方が原子爆弾

でなくなること、エラ・ゲイとは、チベット大佐のお母

さんの名前だった、原子爆弾の投下の都市の条件など

がわかりました。戦争をする時、国のためにたたかうと

いう人もいたと思うし、反対していた人もいたと思います。

私だったら多分、反対していたと思います。

私が一番心に残ったのは池田義三さんが広島県の

原爆資料館に行き、「きれいすぎる」と言っていたというこ

とを聞いた時です。画ぞうを見て私はあれだけでも心が

いたくなりましたが、現実はもとむどかたというを知りま

した。今日、話してくれたことで戦争に興味をもちました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日はあつかわようございました。
今までに本ヤパソコンで調べましたが今日また
新しい原爆でのことがいろいろなお話でわかりました。
原爆を投下しようとしたのが横浜や新潟や京都
もあったけどほくはもし横浜だったさあかと思いま
した。

ほくは、テレビで原爆の番組をみたことがあります。
そのときに広島に投下された原爆「リトルボーイ」がつかわれて
いることが今日わかりました。あとほくは、ラジオニッポン
がなにかかまいていてわかんなかったけど原爆先生のお話して
わかりました。ほくは、なんで投下する約4km手前で投下
したのかは、わかりませんでしたか先生がお話してくれたり
わかりました。

ほくは、国語で原爆ドームの音読で原爆ドームがなにかかわか
りませんでした。ドーム先生のお話で原爆ドームが広島県産
業奨励館だと今日わかりました。

ほくは、あらためて産業奨励館が原爆で半分もなくな
ったからこわいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

(私は、この特別授業を受けて、
義三さんの目線で想像をして、
お話を聞いていました。

お話を聞いていて、原爆についての
考え方が変わりました。どれだけ大きな
被害だったのか、60kg全てが爆発したら
どうなるのかなど、疑問が多くなりました。

一瞬で人が消えてしまうのを、目のあたり
にした人はどのような気持ちだったのか
分かったりしてよかったですと思います。

このような貴重な体験でしか
分からないことむしろはいあると思っ
ます。このような戦争を忘れたいと思っ
ても多いと思いますが、忘れずにしていき
たいと思います。

今回の特別授業は本当に
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、私たちに広島原爆の事を教えてくださりありがとうございました。今まで分からなかったことがいろいろ分かってきました。

眞徳さんのお父さんの義三さんは、17才の時、広島で仕事をしていた。原爆にあいました。突然“^{パン}研”といっ
て目の前がま、白になったことやB29爆撃機が、長さ3.12m、重さ約47の原爆「リトルボーイ」を広島の上空600mのところから落としたことなどを知りました。

次の日、義三さんが爆心地に向かう時、被爆者が義三さんに“たすけて！たすけて！……”と言ったことがとても心に残っています。今日は、すごく感受しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、ありがとうございました。
話しを聞いて、原爆の被害で広島市人口
35万人中14万人もの人が亡くなったと知って
びっくりしました。初めは爆心地だけ被害
にあったと思っていたけど小さい爆弾でも
あんなに強力なんだと知って爆弾は、ものすご
く怖いと思いました。また、原爆は地上600m
(約スカイツリー)の高さで爆発してその表面の
温度は7000℃太陽の温度より熱いのですが
スカイツリーの高さに太陽がある。そう考えると
ものすごく熱くて人間がとけると思いました。
そんな爆弾が広島・長崎に投下されたと
考えるとすごく悲惨だと思いました。ぼくは、
この教訓を生かし次の世代に伝えてきた
いと思いました。また、この貴重な体験をして
ぼくは、爆弾の悲惨さを、これ、悲しさを決
して忘れないでいきたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生に池田義三さんの体験した戦争について話を聞きました。その中で一番興味を持った話は、原爆の威力についてです。広島に落とした原爆のリトルボーイは実際に使っていた。ウランの量は、60kgあったけれど1kgしか使っていないのに広島の人々は、24万人も被爆してしまっていたので、1kgじゃなくて60kgも使っていたらどうなっていたのだろうかと少し興味を持ちました。また、原爆の他にも熱系泉、衝撃波、放射線などでも人々を苦しめていたらしいです。それに原爆は、太陽よりも1000℃も高い7000℃の熱も出したらしいので、なぜそのようになるのかリトルボーイの仕組みも知ってみたいと思いました。原爆先生にお話してもらった話の中で興味をもった事は沢山あります。でも何より戦争の怖さが分かりました。この話の体験をば、池田義三さんが語っているビデオを最後に観てもらいました。池田義三さんは、語っている最中に思っていたように泣いてしまっていました。やはり戦争は、泣くほど怖いんだと思いました。また、広島資料館に池田義三さんが行ったとき被爆者を再現した人形がありました。それを見て池田義三さんが「恥づきる」と言っていたのでやはりもっとひどく恐ろしいと思いました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

中村小



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話聞きながら、自分で想像していました。自分で想像していると、トラックに乗る時に、ひう、か、は、か、れてしまったという話を聞いて、想像が出来ないくらいに、つらいと思いました。んが、い、しゅんで消えてしま、て、そんなことあるんだと初めて知りました。動画を見た時に原子爆たんを使うだけで、時間がかかった建物が、い、しゅんにしてくずれ、われてしま、て、人もい、しゅんで、こげ、て、亡くな、て、原子爆たんは二度と使わな、いでほしいと思いました。しかもたった1kgのウランなのに、広島市が、こわれてび、く、り、しました。あの時の技術でも、多くの死人が、でたのに、今は約1000倍の原爆をもっているなんて、すごいと思いました。ぼくは、原爆について興、味、をもりました。だから何かしりたいことがあ、たりしたら、そのままにしないで、調べてみようと思いました。この前は原爆の話をしてくださ、て、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/27(水)

今日は、原爆のことについてお話ししてくださいありがとうございました。このお話を聞いて広島では爆弾を投下したときは、3000℃も熱く水がなくなってしまうたり黒いかげのしみなどになっていたりすることは、とても怖いと思いました。このように、いつ、どの場所で爆発するのかわんて、分かりないうことだったり、その時どうしていいかわかりなくなると思いました。本当のことば、知りながら、たけど、この機会でお話を聞けてとてもよかったと感じます。そして、私は地面が3000℃と聞いたとき、とてもおどろきました。そして私は、このように体験された人は、とてもつらい思いをしていたことが分かりました。苦しいことなど人を助けてあげたりと、してあげたりとても大切な訓練でもあると思います。きのうのように思い出してしまうこともあると思いますが、次の世代の人たちに伝えて、戦争などをいつまでも忘れないで、とても苦しかったことだったり伝えていきたいと感じました。本当にあったことば、知りとてもよかったと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は原爆の体験のお話を聞いていただきありがとうございました。ビデオや、原爆先生の話はとてもわかりやすかったです。

ほくは、ウランニウムがツクだけで広島市を焼きつくすほどのいかにある事におどろきました。リトルボーイには、ウランが60kgも積まれている事聞いて60kgも燃やしたと考えただけで日本が長あつとします。今は戦後70年です。ほくらは戦争の事をかんはってしらべています。今日一月二十七日に原爆先生のお話を聞いて、戦争でなにがあつて、なにがおきていたのか調べようと思いました。戦争を体験してませんでしたか戦争でなにがあつたのかを聞いて生きて行こうと思いました。

戦争での体験談を聞けるようなまかいをつくらせていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

1/27

今回は、原爆先生の特別授業を受講させて
くださりありがとうございました。私は、原
爆が広島長崎に落ちたことは知ってるけど、細かい
ことは知りませんでした。この授業で学んだ、原子
爆弾のむごたらしさが悲惨さ思わず目をそらした
くなる思いをくみとることができました。死亡率
40%、広島市の人口の約5%に2人がせくなるとい
うことで、すさまじいパーセンテージを見て背すじが凍
りました。原爆で使用したウランが7kgでも広島
市の14万人の人がせくなのに、実際に積んだ
60kgが爆発したら、どうなるのかなと思うと
ゾッとします。でも今回の広島市に落ちたあの
威力の約一十倍以上ある核兵器をたいてんの
国々が保有していると聞き、なぜそんな物を
持っているのか、そんな物は必要ではないのだ
と少し怒りを感じるようになりました。
今回、授業を聞いて、原爆で、尊い命が何
十万と消えてしまうものなので、全世界の国が絶
対に核兵器を使いはけなないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までは原爆は恐ろしいものだと言ったことがあつたけれども、実際に起こったことは何もわからずにいました。

でも、原爆先生の特別授業を受けて、池田義三さんの目線になって原爆について考えることができました。義三さんはやけどを負って「助けて。」

と言っている人を助けたくても助けることができません。亡くなった人の体を運ばなくてはならなくてつらかったのに、投げ出さずやっていたところが自分にはできないなと感じました。自分が想像しているより原爆はもっといかにすごいもので、実際に体験した人はもっと怖い思いをしたのかなと感じました。

今、世界には広島におとされた原爆に比べて1000倍もいかに大きい原爆をいろいろな国がもっています。自分はその原爆を使うと日本の大半が、広島と同じような状態になると感じました。

この授業をきっかけに原爆はどのようなものか興味をもち、くわしく言聞きたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、特別授業をいらしていただき、ありがとうございました。僕は、この話を聞きその場面を思い浮かべていました。教科書や、インターネットでは悲惨さしか伝わらず実際に体験した人の思いは伝わりません。なので、この原爆先生の話で当時の人々はどんなことを思い、どんな衝撃を受けていたのかということを知ることができました。義三さんのつらい気持ちも感じることができました。原爆により多くの人々が命を落とし多くの方が70年たった今でもなお、その放射線による後遺症である原爆病に苦しみ続けていることも知りました。大やけどを負ってもがいたりしている大勢の人々の話を聞き、悲惨さだけではなく、義三さんと同じ、むごさを感じました。

これから、どんどん戦争を知る世代は少なくなっていくと思います。なので、僕たちがその体験を知り、次の世代へ伝えていく必要があると思います。この悲しみしかのこらない戦争を二度としないように風化させないよう語りついでいきたいと思っています。

本日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、特別授業、本当にありがとうございました。
ました。

今回の特別授業では、私が今まで社会
科が学習したこととは別に、実際に
戦争を経験した方のお話を聞き、当時の
何とも言えない、残酷さ、無残さに
涙が出ました。今、私たちが暮らして
いる時代では、考えられないような、
傷も、病気の様子がお話を聞いて
いる時、頭の中はうかびました。

そして、今日、お話を聞いて、今後、この
世の中に当時のような残酷なことは
絶対に起こさせたくないと思っ
たし、今後の世代にも、しっかりとこのように
残酷なことがあったことを伝えていき
たい、と改めて思うことができました。
改めて、今回は本当に原爆の特別
授業、貴重な経験になりました。
本当にどうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今学校の授業で戦争について調べていますが、実際に、戦争というおそろしいことを体験していない私たちにとって、また、戦争とは何か、原爆とは、何かなど知らないことが多くありました。しかし、今回の原爆先生のお話を聞いて戦争について、色々知ることができました。お話の中で、原爆によって、この世を旅立たれた、たくさんの方々、負傷した家族を助けようと助けを求めた幼い子ども、また、苦しくも、つらい任務をさせながらも、少年に救いの手をさしのべた兵隊の方々の話を聞いて、その場を思いうかべてみると、とても胸が痛くなりました。原爆という、おそろしいものが、一人一人の尊い命をうばうことの悲しさが伝わってきました。戦後70年という大きな節目をむかえた今、戦争を体験していない私たちや戦争で苦しい思いをされた方々、ただただ私たちが今、家族と暮らせていることにばかり感謝をしようと思いました。今回の貴重な経験で教科書にはのってはいない戦争の話を聞くことができ、本当に感謝しています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、広島
で、被爆者たちが、どれだけ苦しみ
痛い思いをしたのかわかり、本当に
原爆は、こわく、おそろしいものだ
と考えた。関係のない人まで、巻
きこんだ、原爆や戦争は、絶
対にしてはいけなないと思った。
今でも、後遺症などで苦しんでい
る人がたくさんいる。戦争の事
を思い出したくない人もいる。そ
の中で、戦争について、語ってく
れた話は、本当に貴重な話だわ
た。戦争をしないことでは、わ
までも、平和な世の中が創
られると考えた。七くなられた被
爆者たちの原真い、思いをいつ
までも伝えつづけてほしい。貴
重なお話と、お時間をありがとう
ございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を、
受講して、原爆がおちると、とてつもないほ
どの死者、被爆者を出す、言葉に表せない
ほどのおそろしいものだ"という事を知りました。
当分の人の気持ちを考えるだけで、ゾクッと
します。今も大量の放射線をあびて、原爆病で
苦しんでいる人がいる事を考えると、今の自分の
生活がどれだけ、幸せな事かという事を、
深く心に思い知らされます。原爆を体験した
人達を助ける兵隊さん達が"どんな思いで
安全な所に運んだ"か、広島の前から中
から、"助けて、など"のうめき声を聞いて、
全員を助けられないという苦しみ、
"いっしょに暮らさう"とわかれた人達の苦しみ
その事を、ぼく達に教えてくれた原爆先生
にとっても感謝しています。今回学んだ"事を
絶対に次の世代につなげよう"と思っ
ます。今回は貴重な体験、本当に、
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の話を聞いて、実際にどんなにつらくて、どんな様子で人が苦しんでいるかが思い浮かびました。インターネットや本、テレビを見て、原爆について学ぶより、原爆を体験した人の話を聞いている方が分かりました。

それと、エネルギーの中にある60kgのウラニウムのうち1kgだけが爆発したのはなぜかが分かりました。もし、60kg全部が爆発したら、もっとひどいことになっていたと思います。

そして、7000度が太陽よりも高い温度だと知っておどろきました。たった数秒で人間の中にある水分を全てとってしまうのに、もっとびっくりしました。

これから方の人にこの話をして、原爆はどんなにつらくて、やっではいけないかを伝えていきたいです。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

このたび戦争に関しての特別授業をしてくださりありがとうございます。6年生の内にこのような体験はめったに出来ないから、し、かり聞なけばと言っ気持ちで聞いていました。

この体験のおかげで、戦争のことについて深く知ることが出来ました。

そして昔の人の生活を思いうかべると今の自分の生活はとっても恵まれているという事を改めて実感しました。

なので自分の生活態度を見なおしてみようと思ひました。

なのでこれから身の周りでもったけのりことをしなれ、争いをおささなれまうに心かけたかと思ひました。

ぼくがおじいさんになつてまこのことを忘れおかに覚えてりて自分に子供や係が出来たら、このことを言ひてあげて、後世に伝へつりてあげたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

本日はありがとうございました。本日の空
しゅうのお話を聞いて、すごくひどいと思
いました。インターネットや本などでは分からな
い情報で、すごく分かりやすかったです。たまに祖
父から空襲先の事は聞きますが、実際に
空しゅうの地へ行った人の言葉が初めてでした。

この話からぼくは、すごくこの人が大変だった
ことを学びました。命を失った人、ぎりぎり
生きのびた人、人々を助けた人、みんな、これを
わが人はぼけていたのです。苦しみながら命を失っ
たり、ぎりぎり生きのびたのにまた苦しんだり
など、いろいろな人が苦しんでいたことを
知りました。

これほど、みんなが苦しんだ戦争、空しゅう
をもう起こさないために、ぼくは戦争を
起こさないようにしようと語りつけていきた
いです。本日は貴重なお話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、インターネットなどの情報よりも体験を受けた方から聞いたことの方がとても身にしみてきました。また原爆のおそろしさがとても身にしみました。そのため、原爆や水爆といった核兵器での被爆国は、日本を最後にしてほしいと思いました。しかし、世界では今もなお核兵器での競争が絶えません。だからこそ、今、日本は、唯一の被爆国民として、もう一度核兵器での競争をやめさせ、世界にある核兵器をとりぞろい、世界各国が平和になれるよう努力するべきなのだと思います。そして、戦争はどのような時でもしてはいけないものであると考え、そのためには、後世に戦争について伝えるべきなのだと改めて感じました。

本日は、貴重な時間の中、中村小学校にきてくださり、本当にありがとうございました。



原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して、戦争は、ひさんなことだし僕は小学校3年生くらいまではまだ戦争のことを知らなかった。

当時の人達のことを考えるとつらい思いや、悲しい思いが自分にも見えてきた。僕はこういった事は一回もないので、すごくいい経験になったと思います。僕は、当時の人達を思うと、すごくめぐまれているなと話を聞いて思った。僕は、この広島に落ちた爆弾が爆発した表面は、太陽の表面より、温度が高ということにびっくりした。僕は戦争のことを知り平和を願っている。

いつか世界の人々が、平和で楽しく過ごせるようになりたいと思った。今回、こういった経験をさせていただきありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

学校である社会や夏休みの宿題で習った戦争。

戦争での原爆のことは、本やインターネットで知ることはできたけど、体験した人の話や原爆の細かなこと、とれほど悲惨だったかは聞く機会がないので、とても勉強になりました。例えば、広島と長崎に落ちた原子爆弾に入っていた中身は、実は長崎に落ちたのはプルトニウム、広島に落ちたのはウラン(ウラン)だった。焼けた人がまるで地獄からでたうめき声を上げ助けを求めているなど。また、実際に体験をした池田真徳さんのお父さん池田謙三さんの話を聞かせてもらいたいと普段耳にできないような話をしてくださりありがとうございました。今回習った戦争のことを未来の子ども達に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

学校で調べたり、学んだり、本やパソコンのインターネットで調べたり知ったりするのは、特別授業を受講してもらった事より...データ化されたものばかりだ。だが、原爆先生の特別授業は、実際に原爆にあった人々のお話や、原爆に対する思いなど...他にも資料や原爆にあった人のビデオがあった。

どれも学校や本、パソコンで調べたり、学んだりする事とはちがひ、今回の特別授業は...お話や思いがつまり、原爆を詳しく知ったり、調べたりするにあたって...とっても貴重な特別授業だったなと思う。

お話や思いを聞いて、自際の原爆とは、自分が思い、創像するような原爆程、甘ったるい事ではないと改めて、ひどく感じさせられた特別授業だったが、この特別授業をとりして、原爆について語ってくれる人が少なくなっている今、こうした事で原爆について知る事が出来る機会は少ない。だから原爆について知らない人達も原爆を知り受けついでいかなければならぬ。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の話を聞いて思ったことは、戦争はごあいということであって戦争で、多くの人々が亡くなったりあの映像を見てすこし火災をいっ、きに人が亡くなっているのを見てたかおとすました。

火爆をうけたすこし大けがをしてる人もいたしみんな苦しいや痛いというおそろしさもわかりました。

原爆先生が話をきいて「ほくは絶対戦争をやるのはいけないと思いました。

理由はまたこんなにもの人を殺してしまったり大けがになっ、たりにまたみんなが悲しいことはしたくないと思っただからです。

こんなに貴重なお話をありがとうございました。これから下級生たちにも伝えていきたいと思っております。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業で私は、戦争は
とても悲惨だと思いました。私は、戦争
の授業をしている時、戦争はどのよう
なことが想像しています。今日の特別
授業は、写真、動画、話があり戦争
のことを良く知ることが出来ました。皮膚
がはがれること、広島原爆で5人のうち
2人が死亡することなどさまざま
なことを知りました。私が今日一番
おどろいたことは、一瞬で人が炭に
なること、かけだけが残ってい
たことです。地上600mでリトルボーイ
は爆発し、地面3000℃になること
もおどろきました。助けを求める人達
は必死だったと思いました。今日は、
戦争、広島原爆について教えて
いただきありがとうございます。
した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この原爆先生の特別な授業を受講して、もう二度と戦争をしてはならないと思い、そのために、このお話を次の世代に語り継ぎ、その時思った、むごさや心がうとなった思いを糸色やすことなくしていきたいと思いました。

お言葉の中でありました、池田眞徳さんの実体験は、想像しただけでも胸が痛くなりました。ですが、本当に体験して頂いた方は、そんな物ではなく、声なども聞いて、一生心に残り、夜もねむれない、と思いました。

私の祖父の父も、軍人になり、船3隻で日本に帰るときにアメリカの魚雷で祖父の父の乗船していた船以外撃沈し、永眠するまで悪夢に恐れていたと聞いていました。なので、絶対もう戦争はしてはいけないと改めて誓いました。

最後になりますが、今日は、貴重な体験をさせていただきまして、本当にありがとうございました。そして、この思いを忘れず、次の世代、また次の世代へ語り継いでいきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

僕のおじは戦争にいらしたので"原爆先生"の話がよくわかりました。

おじは大阪出身で爆弾の落ちるときの音が花火といふので花火をすごくこわがっていました。

おじは戦争で病気をあつらひ91才で永眠してしまいました。僕はこの話をきいてすごく戦争はこあくひどいことだと思いました。

僕は戦争の話をおじからきいていながら、たのびをきかいたおじがすこりところにいるのでこれをきかいたおじがすこりところにいるので何人もの人をすく、てきたと言ふことがあかりす理くうおじからです。

おじも原爆先生の父もすこりたいてんかと思ひましたが、らも戦か、ていたかと思ひました。

僕はこれをきいてこれからす、と日本のみんなに伝えていきたい、そ、思ひました。

原爆先生この話をしてくおてうおじからです。

本当にありがと、ごさいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私たちは今、学校で戦争について学んでいます。それぞれ調べていることはちがいますが、実さいに体験された方のお話を聞くことができ、とてもうれしく思っています。

その中で印象に残ったことは、先生のお父さんが言っていた、「きれいすぎる」という言葉です。当時の人々の思いや私たちに本当のことを伝えていく気持ちなどを考えさせてくれた一言だと思いました。

今、こうして戦争について考えていけるのは私たちにいろいろな事を伝えてくれる人たちがいるからです。だから、私たちも平和について自分の考えをもち、後世にしっかりと伝えていけたらいいなと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、授業として戦後70年
たった今、戦争のことについて
調べていました。

けれど、原爆先生の特別授
業を受けて今まで調べていた戦
争のことはまったくちがし、もっと
非惨だったことがよくわかりま
した。

ぼくは原爆先生の話を聞
いていてとてもゾッとしまし
た。黒こげの死体も生きているか
どうかもあからない人がそこら中
にいるなんて、原爆がとてだけ
恐ろしいのかが新めてわかりました。
こんな恐ろしい兵器が世界各国
にあるから、原爆を受けた日本
がこの原爆の恐ろしさを世界
中の国や後世に伝えて行かな
いといけな人だと思いました。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日私は戦争に対しての考えが変わりました。
 理由は原爆先生のお話して、戦争とはただ人が
 たくさん亡くなる、国民もまきぞうにした、国同士
 のケンカかと思いいましたが、そんな生ぬるい物で
 は、ないと言う事を学びました。たしかに人は、
 たくさん亡くなりました。たくさん、たくさん亡くな
 りました。ですが、その亡くなり方が、なんとも、無
 残なのです。両手をななめ前に出し、よたよたと、
 はいかいする人々、いくら助けを呼んでも、誰も助
 けは、来ない、そんなとて、つらい、時が流れてい
 き、そして痛みが、苦しみにたえかねて死んでい
 く。その様な、人々が、いました。そんな無残
 な人々を、私達はただ、かわいそうと、思っている
 だけでなく、かわいそうだから、どうしよう
 と考え、私達は、その人達の分も、生きなければ
 なりません。そして、戦争の苦しみを、知った、
 限り、もう二度と戦争を起しては、なりません。
 今、この世界で、世界が争えば、私達の
 命はあほせん、そんな考えを、持たせたい、本当に、かわいそう
 ございました、今回教えてくれた事は、永遠に、うけつかわる。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、貴重なお話をありがとうございました。私は、初めて原爆を受けた人の話を聞きました。想像するだけでとても怖かったのですが、とてもいい勉強になりました。そして、今、自分がどけだけ恵まれているのかということを改めて感じる事ができました。私が一番心に残っているのは、たったゴルフボール一個分ほどのウランを燃焼するだけで、広島市全体が火の海に変わり、たくさんの犠牲者が出たということです。このような恐い原爆や戦争をくり返さないために私たちができること、それは、戦争、原爆について、後世に語り継ぎ、戦争を二度としないようにすること、今の自分の生活があることをいつも感謝してあげることだと考えます。この特別授業をきっかけにして、私もそのようにしていきます。今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回お話しを聞き、今まで自分が思っていたことと大きな違いがありました。もし、自分が広島
の現地にいたら、と思うと、体がふるえてしまうくら
い、怖いことだと感じました。今とは違い、かけ
はなれた世界があったことにおどろきをかくせ
ません。しかし、昔のことは変えられることではない。
だからこそ、これからの世代に伝えていく必要がある
と思います。今は、食料もあり、元気に遊ぶこと
ができる、沢山の笑顔があります。けれど、戦後は鉛
を笑い、苦しむ人々が大勢いました。現代とは異な
ることが沢山ありました。私はそのことが本当にあ
ったことだと思ったり、とても悲しく思います。これから私
たちができることは何でしょうか。私はこの事を
次の世代に伝え続けることだと思います。私たち
が、このことを次の世代に伝え、その世代がまた次の
世代へと伝える。そうすることで、「もう二度と戦
争はしない。」「してはいけない。」ということをし
て、平和な社会をつくることができると思います。
本日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、影ができなく、太陽より熱いのが落ちてくるなんて、想像をしただけでも恐いし、でもそれを見た人のほうが怖いだろうと思い、改めて、原爆の怖さを知りました。

原爆を受けた人は多く、死者も、多くでました。その中で、黒こげになっても、兵隊さんに救いを求め、必死に痛みをこらえ、歩き続ける人は、「すごい」と思いました。

戦争というものは、多くの人が亡くなり、多くの建物がこわれ、多くの県や町がおそわれ、黒こげになる。ということを見ると、空しゅうは、おそろしく、怖いことだということ、が学べました。

だから、二度と戦争は、起きてほしくないと思えました。

原爆先生、私達に、原爆のことを教えていただきありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は夏休みの宿題で戦争に関わっている自由工作があり私は、ダンボールでエノラ・ゲイ、B29を作っていました私はその時何も考えずに作っていました。今回の原爆先生の特別授業で、B29、エノラ・ゲイが原爆を投下していたのは知っていましたが、初めて言葉を聞くと、その投下した原爆によって、いろいろな人が、じごくのような苦しみをされていて、何も考えずに作っていた私はいやな気持ちになりました。いろいろな人を苦しめたのに何も思わず作った人、その原爆で死んでしまった人にもうしわけありません。今さら作らなければよかったです。私の父の父の父、つまりひいおじいちゃんにあたります。ひいおじいちゃんは自ら海軍に入りました。そして、「くちくかん」に垂っていました。しかしそのころは、大船が4人で1台動いていました。ひいおじいちゃんは仲間の3人が死んでしまい、船中のかんぱんは、血の海のような状態です。私はその言葉を何も思わず聞いてしまいました。この授業で苦しみを1から考え直すことが出来ました。このような授業をしていただきありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日は、原爆についてお話していただき
ありがとうございました。

私は今、戦争について、本やパソコンを
使って調べています。今回の話では、
戦争のデータだけでなく、戦争を体
験した方々の気持ちを感じることが
できました。私も、戦争を体験した
方々の気持ちを想像して、話を聴い
ていましたか。とても、つらかったで
す。

私は、このつらい思いを後世に伝
える事が二度と戦争をしない事にな
つなげると考えました。

二月に、五年生に、戦争のことを伝
える機会があるので、戦争を体
験した方々の気持ちを、しっかり
伝えたいと思います。

今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の講義を受講し、まず、ショックを受けました。私は、祖父から戦争のことを聞いたのですが、関東に住んでいたのも、原爆のことは、本や博物館、インターネットに記載されていることしか分かりませんでした。

今日の講義の中で、義三さんが記念館に展示した人形を「きれいすぎる。」と言ったことにショックを受け、ぼうぜんとしてしまいました。人形を見て、恐怖におちいるのに、本当の被爆者は、もっとそう絶大な言葉に表せない姿だったのだと分かり、私達の知っていること、想像は、事実よりも易しく、事実は、とても厳しかったのだと思い知らされました。

今日、実体験者の話を聞いたことは、貴重な体験であり、新たに知ったことは、貴重な教訓であると思って聞いていました。実体験者が、少なくなっているからこそ、次の世代に語り継いでいくことが必要なのだと思いました。本日は、貴重なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、今回はどうもありがとうございました。今、戦争についての学習をしています。資料だけではわからない事、思いについて学ぶ事ができました。

知識についての理解もできました。

戦争の悲惨さ、原爆の悲惨さについて、やはりこれを後世に伝えて、この核兵器を使用しないようにしたいと思いました。そしてこの核兵器より十倍近くのかさを持った物があると知りました。これも個々にして「核の」の社会にしたいです。

そのためにぼくは、後世にこの話を伝えていきたいと考えました。

そんな事を考える機会を作。て下さり本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

原爆の怖さをあらためて感じました。人間なのに、大やけどを負い、人間には見えなかった、とか、聞いていてふるえが止まりませんでた。そして、関係のない人をまきこんだ戦争をにくく思いました。戦争はおそろしい。七十年たった今でも、人の気持ちにダメージをあてる。そんな戦争を、もう二度とおこしてほしくない。平和な世界を心から願います。

原爆先生の特別授業を受講して、その時の広島の人々の気持ちを考えてみようと思いました。何が起きたかも分からない。大きな音やしょうけき。どうしていいのかも不明。そんななか、死んでいった人々。まじと生きていってほしい。赤ちゃんから老人まで、多くの人々が亡くなった。そんな出来事を学んだ私たちにできることは、平和な世界をつくることと、生きている今を大切に、けん命に生きることではないか、と気付かせてくれた気がします。今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は裏面に記入してください

ゴルフボールと同じくらいの大きさ。
たったそれだけのウランが爆発した
だけでも広島市の人口の約40%が死
亡してしまうおそろしい爆弾。現実には想
像以上だろうが、想像はただでよいとする。
自分は原爆をただの爆弾だと思
っていました。ですが、池田さんのお
はなしを聞いておどろきました。また、
様々な図や数値で説明していただいた
のでとても分かりやすかったです。
そこで思いました。そのようなこと
が今後起こってはなりません。
なので、後世に語りつぎ、二度
と原子爆弾という爆弾を使
われなような世界にしてい
なくてはならないなと思いました。
今日は貴重なお話を聞かせて
もらい、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆についての話を聞いて、原爆とは、どういったものであるのか、どのような被害が出たのかなどを、くゆく知ることができました。また、実際に、兵隊という立場で、原爆を体験された人から見た、当時の様子や、心情も知ることができ、他では聞けないとでも貴重な良い経験となりました。

今回、私は、原爆について改めて知ることができたほかに、先生や、先生のお父様のように、原爆の体験について、後世に伝えていくことが大切だと思いました。私は、今回、先生のお話を聞いたことで、原爆について学び、原爆投下やそれにつながる戦争を二度と起こしてはいけないと感じることができました。

今回は、原爆についてのお話をしてくいただき、本当にありがとうございました。これからも、今回学んだことを忘れず、誰かに伝えたいと思います。そして、平和な生活を送れる今に、感謝し、今の生活がずっと続くようにしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

本日は、貴重な経験をありがとうございました。

今日、原爆先生のお話を聞いて、戦争の悲惨さ、苦しみ、人々たちの思いを改めて深く知ることができました。また今、私たちはどのような思いで生活をしていけばいいのかよく考えることができました。私は、雨や雷があまり好きではありません。けれど、原爆が落ちた時のことを思い浮かべたり、考えたりすると、雨だとか雷が鳴ってるだとかそのようなことでぶっぶっと言っはいけない。戦争を経験した人たちのためにも、今という時間を幸せに思っなければいけないと感じました。

戦争の悲惨さ、苦しみ、思い、そして私たちはどのような思いで生活すればいいのか、深く深く伝えていただき本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆこ}別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特^{じゆこ}別授業を受講して本
 当によかたし思^{おも}は^{おも}わ^わたに聞^きくことか出
 来^きない靴^{くつ}争^{まじ}を体験^{たいけん}した人の思^{おも}い^いか^かに^にの^の
 貴^き重^{じゆう}な画^え像^{ざう}か映^{えい}像^{ざう}を見^みて、し^して^ても魁^{けい}
 強^{きやう}にな^なり靴^{くつ}争^{まじ}は二^に度^どとし^して^てい^いけ^けな^ない事^{こと}だ
 なと己^{おのれ}め^めて思^{おも}い^いま^ました。け^けれ^れど、今^{いま}で^でも
 紛^{まじ}争^{まじ}か内^{うち}靴^{くつ}か起^{おこ}ま^まて^てい^いる場^ば所^{じよ}かあ^あるの
 で、一^{いっ}刻^{こく}も早^{はや}く紛^{まじ}争^{まじ}か内^{うち}靴^{くつ}か終^おわ^わ
 りほ^ほい^いな^なと思^{おも}い^いま^ました。そ^その^のた^ため^めに^には、願^{ねが}
 うだ^だけ^けで^では終^おわ^わるこ^こと^とか^かな^ない^いと^と思^{おも}う^うの
 で、原^{げん}爆^{ばく}先^{せん}生^{せい}のよ^よう^うに「靴^{くつ}争^{まじ}はし^し
 は^はり^りけ^けな^ない^いん^んだ^だ。」と^とい^いうこ^こと^とを^をこ^これ^れか^か
 ら^らま^まず^ずと^と伝^{でん}え^えて^てい^いか^かな^ない^いん^んだ^だと^とぼ^ぼく
 は思^{おも}い^いま^ました。

今日^{けふ}は本^{ほん}当^{とう}にぼ^ぼく^く達^だのた^ため^めに特^{とく}別^{べつ}
 授^{じゆ}業^{ぎやう}を受^{じゆ}講^{ぎやう}さ^させ^せて^てく^くだ^ださ^さ、と^とあ^あり^りか^か
 と^とい^いて^てい^いりました。そ^そし^して、原^{げん}爆^{ばく}先^{せん}生^{せい}
 の思^{おも}い^いを^をこ^これ^れか^から^らま^まず^ずと^と忘^{わす}れ^れな^ない^いて^て
 い^いよ^よう^うと^と思^{おも}い^いま^ます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

中村小学校に特別授業として、原爆について説明して下さいありがとうございました。私は、原爆や戦争はとても恐ろしいものだとしか思、ていませんでした。原爆を投下することによって何万人も亡くな、てしまい、被爆者で生きのびたとしても、後遺症が残り、これからの人生でも苦しんでしま、う。そんな被害をもたらす原爆は二度と投下してはいいけないと改めて学びました。戦争の話は決して、明るい話ではないけれど、これからも語りついでいくべきだと思、いました。「人」の形ではないような死体もあ、ると知り、とてもショックを受けました。今の時代では全く考えられない事なので、現実をはなれ、てい、てくれ、戦争を行、っていた時代では当たり前、の事だ、と悲しくなりました。だからこそ、戦争は人を傷、つけることしかできないこと。昔と比べると、今はとてもせ、いたくで、ありがたい事だ、と思、って、一日一日を大切に過、ごしていきたく、思、いました。また、家族を大切にしたい、と思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生のお話をきいて、頭の中で想像しただけでもとても悲しく、なんともいえない気持ちになりました。でも、実際に体験した人はもっと悲しくてつらかったのだと思うとすごく悲しい気持ちになりました。だからやはり戦争は二度とやってはいけないし、戦争をするといふせんたくしはすこくまちがっているんだと思いました。

また、原爆が投下されて被爆してしまった人や亡くなってしまった人を運ぶ作業というのは、すごくつらいと思うし、においもすごいと思うけど、6日目くらいからはもう慣れていたときいておれがなれてしまったりきつたりは、とても急いで作業をしろといけなかったことがよく分かりました。作業は亡くなっている人をさがしだし、亡くなった方を焼くというものときいて、私だったらそんな作業はたえられないと思うし、その命令からにげてしまつたらなと感じました。

さらに、島にもどるために歩いていて、まだ生きている女性をと中で助けでおびって運んだときの生きている人を運んでいるうれしさや喜びはすこく大切な感かくなつたらなと感じました。そして、その女性から60年ぶりに手紙をもらったときの気持ちはものすこくうれしかったのだらうなと思いました。今後、たくさんの命がけがらわれた戦争があったことを頭に入れ、次の世代の人にも二度と戦争はしてはいけないといふことを伝えていきたいと思つています。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まであまり原爆について知りませんでした。しかし、今回原爆についてくわしく教えて頂いたおかげで、原爆についてくわしく知ることが出来ました。私は今回話を聞いて、そこにいた人の苦しさ、大変さを改めて知ることが出来ました。そこにいた人はどんな想いだったのかなとか、どんなに痛かったらうな、苦しかったらうなと思うと本当に胸が痛くなります。そして、たくさんの命がうばわれ、もう二度とこのようなことはなっけないなと思いました。そして、最後に話して頂いたウランの話で、ゴルフボール1つ分のウランで何万人もの命をうばうということは、60こ、全てが爆発したら、何億人の方が亡くなっていたかもしれません。そして、今、総合の授業で、戦争について勉強しています。戦争の悲しさを総合の授業で改めて知り、今回原爆についてもさらにたくさんのことを学びました。このような貴重なお話をさせて頂き、6年生で社会の時、原爆について学びましたが、まだまだ知らないことがあったのでこのようなお話をさせて頂き本当にうれしかったです。原爆についてくわしく、分かりやすく教えて頂きありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回の原爆先生の特別授業を受けて、戦争というものはすごい激しいことだとあらためて感じました。広島原爆の話を知っていた時、頭の中で想像するだけで怖いと感じました。なので戦争に行かずに、体馬券などをやらずに、戦争に行ってしまったように感じました。そして今回の話で怖いと思ったのが原爆の放射線です。放射線のせいにより病気で苦しんでいると言っていた時、放射線は本当に害をあたえるものなんだと実感しました。原子爆弾が投下して爆発した時は、もともとせまいはんな国だと思いましたが、人口(広島)のほとんどの人が亡くなるということは原子爆弾のいかにすごいんだと思いました。なのでこれからも、下級生のために今回聞いたことを伝えていきたいと思いました。そして、今の下級生や、これからの子供達のために、伝えていこうと思いました。今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生のお話を聞き戦争とは本当に悲^悲さんなことになるのだと改めて感じました。調べていて見たくないと思うこともあったけれど、原爆先生のお父さんは、戦争のときのあとを見て「きれいすぎる」と言ったことには、もとおどろきました。私たちにそれは、それだけでも見ていたくなくなるのが、実際に体験した人には、きれい、ということとは、それだけ、戦争は人の心に大きな変化をもたらすことになるのだとわかりました。

私の祖母も10歳のときに終戦をむかえましたが、祖母の話は、いなかだったため、比較的おだやかで、それほどすごいことではなかったのかもしれないと思っていました。しかし原爆先生のお話を聞き、祖母のような人はごく一部で、戦争でもっとつらい思いをした人はたくさんいたことがわかりました。今回、原爆先生に聞いたことや、今まで調べてきたことを、もっと先の人にも伝えていきたいです。そして、もうこんな戦争が起こることのないようにしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島原爆の特別授業を受講させていただき
ありがとうございます。そして、受講させ
ていただいたおかげで原爆のことやひさ
んが話で伝わってきました。また、原爆
の仕組みなども言語を聞いて分かりまし
た。

そして、ぼくは特別授業を受けて先生
のお父さんが原爆が落とされた、広島
にいたと聞いて、しおがきをうけまし
た。でも、傷がついていないと聞きほっとまし
た。また原爆の名前の由来なども聞け
たのでよかったです。原爆の熱さが7000℃
と書いてありびっくりしました。それは太陽
の表面の温度より1000℃も熱いからです。
そして、その爆弾で多くの命が亡くなってしま
うことも改めて分かり悲しくなりました。

そして、特別授業を受け、ぼくが思ったことは単
独ではいけないことです。なので、ぼくはこの話を聞き
て、もしこのような話を出来る機会があればいいと思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/27

本日は原爆の恐しさについて教えてくださり、ありがとうございます。そして、被爆した方の話を聞かせていただきありがとうございます。ぼくは、今まで原爆の威力についてよく知らなかったけれど、すごく高い温度の熱や放射線などで人々を殺し、原爆病で今でも多くの人がか苦しんでいることを知っておどろきました。そして、原爆などの核兵器は、絶対にあってはならないものだと実感しました。特に、今は、北朝鮮が水爆実験をしたことで問題になっています。また、中東などの国でも核爆弾の開発が進められています。このように、最近では核爆弾が少し身近になってきています。でも、身近だからこそ、より核兵器に気をつけないといけないと思います。だから、これからも世界が核兵器を無くしてほしいと思いました。そして、原爆のおそろしさについて伝えてほしいと思います。本日は、原爆について教えていただき、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が、この原爆先生の特別授業の中で最も心に残っているのは、広島に原爆が落とされた時の話とビデオの、座っていた人が一しゅんで消えていなくなってしまう所です。目の前にいた人が、ピカッと光ったと思ったらフツといなくなってしまうなんて、とても怖いと思いました。また、ドラムかんのかけ"にかくわ"ていて助かったというのを聞いて、すごいなあ、奇跡だ"と思いました。そこで先生のお父さんが助かっていなければ、先生はいなくて、この貴重な体験はできなかったかもしれないので、本当に貴重で、真げんに聞こうと思えました。

そして、この授業を生かして、戦争のおそろしさや平和があることの大切さを、色々な人達に伝えていきたいと思いました。また、今この平和な日本に暮らせていることに感謝していきたいと思いました。

最後になりましたが、原爆のことについて知る、貴重な体験をさせていたたき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回はこのような機会をつくらせていただきありがとうございました。
私たちは今戦争のことについて調べていて、三月には五年生に
発表します。私はこのようにくわいお話(体験談)をきいたことが
なかったのて、どんな気持ちですごしていたのか、こういときはどん
な思っていたのかなどは知らなくて、お話の-つ-つに
ただただおどろくばかりでした。とくに、被爆された方の具体的
な様子などは、想像するとこわくておもわず耳をふさぎたくなりま
した。あと、江田島におと帰れるというときに、少年とお姉さん
を助けてあげた、ということ。その後お姉さんから手紙がきた。
というこにすごく感動しました。今回二時間 お話をきいて、とても
原爆のことがよくわかり、たまたまウニクダで広島町の町や人々が
いっしょになごなになたり、もし助かたとしても後いしょうがのこ
てしまうというのが、すごくおそろしく、こわく感じました。今回お話
をきいたことにより、実際に見たわけではないけれど、被爆
の様子が頭にうかび、こわさやおそろしさ、ふるえるほどのまうら
を少し感じられたと思います。そして、この思いをわらぱりたくさん
の人に知らしてもらえないといけないとも思いました。次に、五年生に伝え
ていくのは、私たちが、感じたことや、きいたことをしっかりと伝え
ていきたいし、自分も改めて知れなことを忘れなようにしていきたいと思



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して
 どれだけ原爆は、おそろしい物だったのか
 よくおわかりました。それに被害を受けた人々
 のことを助けたくても、皮肉かはがれて人々を
 苦しめてしまったりして助けられない兵隊さん達の
 考えもよく理解できました。助けたくても助け
 られないのは本当に辛いことだと思います。か
 らです。それでも話の中にあたりさん位の女
 小学生を助けた話を聞いた時は、とても感動し
 ました。

今は、戦争もよく平和に暮らしていますが
 昔の戦争の凄惨なやっらさが改めて分かり
 ました。そして兵隊さん達は遺体のそだ
 くをしたい被害を受けた人達を助けたり
 してくれなかったとも話していたがましました。
 ぼくは、今回の特別授業で原爆
 のお話を聞いてあげることが貴重なことな
 のでとてもありがたい授業でした。このこと
 を忘れずに、今平和に暮らしていることに感謝
 しています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回のこの原爆先生の特別授業を受講して、戦争を実際に体験している人ほど、その恐怖をよく理解していて、それは筆舌につくしがたいものであり、そのことを伝えていくたびその思いはうすれてしまいます。しかしこうして体験者の言葉を後世のぼくたちなどに語りついでくれる先生のような人がいる限りは、戦争のことが忘れさられる時代はこないと思えます。それに今回の話を忘れずにしてぼくも自分の力でできる限り、次の世代にこの戦争でおこしたたくさんの悲劇、人々の悲しみ、今の平和な日本の裏で七くなっていったたくさんの人々の存在というものを伝えていきたいと思えます。そして、先生のお父さんがビデオで言っていた戦争において人々が無様なあり様を見て何とも言えないような気持ちかこみ上げ、感情を見せたいことが心に深く残り、また一番共感できるようなところでした。先生、今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

こんにちはいきがいをいただきありがとうございます
ございました。

ぼくは戦争のことを調べて、ずっとこんなにかわい
いかなんかなと思っていました。さらに原爆先生の話を
聞いて、すごく昔の人々からいらいおもしろいかなん
かなんかと思ったり、これからせつたいに戦争ははては
いけな
いかなんかと思ったり。

特別授業をして、いろいろなことがわかりました。

どう時のことなど原爆のことなど勉強がいろいろ
できました。それに体験も聞いて、たのしいと思いま
した。

実際に原爆がおとされた所にいらしていろいろを
やったり、すごくいいやな思ったり、悲しい思いがあつたの
にもかかわらぬ、めいれいにしたから、ここまでや
つたの、おもしろいと思ったり。

今回はほんとにききな話や当時の話、原爆のこ
とを話していただき、ありがとうございます。

そしてこれを、今年生などに伝えていけたらいいな
と思ったり。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、学校の授業で戦争の事について調べて
 います。それを5年生に伝えるという事もします。なので
 原爆先生の特別授業はすごくためになりました
 したありがとうございます。そして原爆先生の話を
 を聞いて思ったことや考えたことは、戦争やかくへ
 いきなどは使えないということ。考
 えたことは、原爆をおこした人々の気持ちや話
 しを聞いてその時の風景です。それを考えてい
 るとゾーとするともありました。でも戦争も原
 爆もやめてはいいという気持ちいっしょに出
 てきました。あと原爆先生のお父さんが
 原爆がおちた場所に行くと死体をさが
 したり焼いたりした時のこととも感じまし
 た。それでもその死体をさがしたり焼い
 たりする作業を最後までやりおた
 原爆先生のお父さんはすごくこが
 こいと思えました。最後に原爆先
 生のお父さんが死んでしまっているとい
 うことを聞いて本当に残念ですほんとうにあ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

りがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことについて色々話してくださってどうもありがとうございました。こういう経験はあんないいのですごく勉強になりました。またいい経験だなと思いました。今の自分は平和で安心して暮らしているけど昔は危険でいつ何が起るかわからないということを知って今の自分たちはめでまわっているんだなと思いました。だから昔の人にとにかく感謝したいなと思いました。原爆はすごく危険なもので家をほうかいするほどのい力があることを知ってびっくりしました。義三さんの話を聞いて多くの犠牲者や皮ふかはがれた人がいたのはすごく残こくたと思いました。昔の日本がなかったら今の日本は平和じゃ無いと思ったのでそのくさい昔の人はすごくいいなと思いました。またこれまで全く知らなかったことも知れたのでよかったです。なのでこのようなことをもう一生起こしてやないと思いました。話してくださり本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ほくは、今、戦争のことについて調べているけど、自分が調べているのは戦争中の衣、食、住なので、原爆については、恐いものしか知らず、詳しいことはなにも知らなかった。

そして今回の、原爆先生の特^{じゅこう}別授業で、インターネットや本では調べることのできない貴重なお話を聞かせてもらい、原子力爆弾かど木ほど恐いものか、そして、原爆は、広島市の町かど木ほどの被害を受けたのかを詳しく知ることができました。

そして今回のお話の中で特に、印象に残ったことが2つあります。まず一つ目が被爆者かど木のようなことになってはうのか、ということですが、なかというとはしは原爆は、て、なかかたか本てはまたり、てを引は、ただけでと木はうかんでては強(ま)くなると知らなかった、自分が想像していることよりも何倍もひどかたかです。

そして、二つ目は、さらに原爆は、て生物は内臓の中の水が蒸発してしまうということです。お話では人が原爆は、る熱で体中の水が蒸発し、皮膚は乾燥してしまふ、し、けを流す体がバラバラになる。とき、お話(はなし)について、ほくは、自分では老(こ)えら木(き)ないようなことかた、た一翼(ひとつば)の爆弾でおきてしまうなんて、なんても恐(おそ)いことかた、ら(ら)と思(おも)いました。

今日は原子力爆弾についての貴重なお話がどうもありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの貴重な体験をまかせてくれてありがとうございます。ぼくは池田よしろうさんの実話を聞いてまさかかくはくたんのりりやくすあそまで強いは思ってもいなかたど。ぼくは今生まれて本当に運がいいなあと思いました。

もし戦争時代に生まれたら、せ田さんみたいにすぐみんなのぐくにたつようになりたいなあーと思いました。

ぼくはアロイのはにかてですこし気持ち悪くなりますがなぜか戦争のことはぼうがないと思ってなんとも思いませんでした。

ぼくはこの話をもう一回ききたいかままたインターネットでも調べてみたいです。

ぼくは今戦争のことを学校のじゆきょうで調べています。もっともこの話のおかげでくわしくなりました。今日は90分いそがしいなが本当にありがとうございます。明日もききたい。この90分間を思ったしなから明日も戦争の時間のでん強をがんばっていいこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/26

原爆についての特別授業をしていただき
ありがとうございました。この特
別授業で、僕は色々な事を学びまし
た。その中でも特に印象深かったのが、
手の皮がはがれたりやけどとして歩く
のが大変ということを知り、原爆の
恐しさなどを改めて深く知りました。
原爆と聞いただけでは最初はあま
りなんの事なのか分からず、そんな
に危ない物というのもしりませんでした。
でもお話しを聞いて、戦争をしてはいけ
ない、原子爆弾を使ってはいけない、原
子爆弾を使わせない、とい
うことを改めて深く知り、この原子
爆弾の怖さ、ひたさをこれからも
語りつづき、戦争をしない、原子爆弾を使
わない、原子爆弾を使わせない世の中に
していきたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/27

今回の授業を受けて戦争はとてもおそろしいことだと思いました。
 今までは本などを読んで戦争のことを学んでいただけですが今回は90分
 間の長い話を聞かせてくださり、より戦争のことがわかりました。
 みんなが休んでいる時も外を見ていると戦争がない世界は
 とても幸せだなと思いました。実際に戦争は体験したこと
 はないけれど、もしこの住んでいる所が原爆の被害にあたら
 と思うと今の生活がどれだけ幸せかわかた気がします。原爆
 の資料館に行った話の時のきれいさる、言ったのは体験して
 いるからそのこわさがほかの人よりわかっているからこおったのだと
 思いました。戦争の話をしている時に周りの被爆した人の
 様子を聞いた時助けてあげようと思ったのに逆にその人を
 きづつけてしまう話が印象に残りました。被爆した人を
 助けてあげようと手を出したのにその人をきづつけてそれを
 目の前で見ると想像するとてもおそろしいと思いました。
 戦争のない国はとても平和だなと思いました。貴重なお話ありが
 ございました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/27

ぼくは原爆先生の特^{じゅこう}別授業で、原爆の被害や
 そのおそろしさ、いかなどを改めて知りました。原爆先生
 のお父さん友三さんが、広島原爆の時に広島県にいて、
 奇跡的に生き残ったと聞いた時はとてもびっくりしました。
 しかし、悲しかったのはその先でした。トラックで広島市
 内に向かう途中、最初の方は人間だったのに、じんじん
 市内に近づくにつれ、普通の人間とは思えない
 ような人達か、にげてきたということや、荷台に乗せよう
 しても乗れなく、乗れても体と体がこすりあい、痛くて荷
 台からころけ落ちる人がいたりしたことを聞き、その
 時の友三さんのつらさを知り、原爆のおそろしさを改めて
 感じました。ぼくはこの原爆先生の特^{じゅこう}別授
 業で、その時その場所で消火作業や救出作業
 をした人の話を聞くことができました。そして、改めて
 原爆の悲しさや被爆者の人達のつらさ、
 命の尊^{たかしら}とさなをたくさんのことを知りました。そこから
 ぼくはこのたくさんの尊^{たかしら}い命が失われた原爆の
 ことを来世に伝えていくことが大切だと思いました。
 なのでこれから色々な子ども達にこの話を伝えていこうと

思い出



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

127

先日は伝えていかなければならない大切な事を伝えてくださりありがとうございました。

ぼくは特に印象に残った事は被爆した人の手をとって助けようとした時に人間の皮や肉がはがれおちてしまった事無罪なのに殺されたたくさんの日本国民の処分。

これはぼくも聞いているだけで悲しく、つらい気持ちになりました。

ぼくが言っても変ですが日本はもう絶対戦争をしてはいけないと思いました。

先生のお父さんもビデオで語っていて泣いてしまったりしてしまうほどつらい戦争はしてはいけない^①と思いました。

原爆先生、ぼく達に伝えていかなければならない大切な事伝えてくれて本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今、原爆について、社会・総合で学習しています。

そして、今日、原爆のおそろしさをあらためて学びました。いきなり黒いかけをのこして消える人や、皮がズルズルとはがれてしまうほど、

ひふが弱っている人... 目の前でたくさんの方が死んでいくこうけいを私が見たら、こわくて動けなないと思います。ですが、原爆先生のお父さんは、なんとか助けようと言う思いで、

いはいたったことがよく伝わってきました。

私は、今回の特別授業で、戦争のことがよく分り、とてもおそろしい事だと言うことが分りました。

原爆は「もう昔の事だし、もう終わったこと」としか、思っていませんでした。

しかし、この90分間で、しらなかつた、くおしい事がよく分り、この事を、忘れずに生きて、過ごしていきたいと思います。

原爆先生、特別授業本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いているときに思ったことなどがたくさんあり
 ます。その中でも特になせと思っただことがあります。それはなぜ先生の
 父は、17で兵士になったのかです。それがぼくには分かりませんでした。
 ぼくは、先生の話を聞いて印象に残ったことがたくさんありますが、そ
 の中でも印象に残ったものが一つあります。一つ目は、リトルボーイのこ
 とです。このリトルボーイは、ぼくの中でも一番「おもしろそうだね〜」と
 思った物です。リトルボーイの中では、ウランが印象に残りました。特に
 ゴルフボールで広島を炸裂するということ。二つ目は、原爆土地
 での作業です。これはぼくが一番ひどいと思っただ話です。特に死
 んだ人にウミムコが入るという言葉が印象に残りました。ウミム
 コの話は、本当に凄まじいと思いました。最後
 は、先生の父のことです。父の話が一番印象に残ったのは、
 人形を見た時の一言です。あの「人形よりひどい」ということは、
 きっとぼくには、まったく想像できないと思います。ぼくは、
 先生の話を聞いて、これからななるべく多くの人に戦
 争のひどさや最悪さを教えたいと思っただ。ぼくは、思
 いました。今回は、中本村の6年のために、特別授業を
 させていただき本当にありがとうございました。なので本
 当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

総合の授業で原爆先生のお話がありました。内容は1945年8月6日、広島に落とされた原爆についてです。

以前社会で原爆について勉強していましたが、今回の授業でより深く原爆について知ることができました。原爆先生は実際に原爆にあられたわけではありませんが、とてもくわしく原爆が投下された時のことを教えて下さいました。罪もない人々の上に原爆は落とされせきに何大もの人が丸こげになってしまっただろうです。そして、生き残った人は、はずとやけどなどの後遺症で苦しんできたでしょう。

私にはとても、想像がつかないことですが、夏休み前くらいから戦争について調べる学習をしていたのでそれが絶対にくり返してはいけないうことと実感しました。そして、そのことを次の世代にも伝えていくことがとても大切なことだと思いました。



名前は表面に記入してください

じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生から初めて知る原爆についての事実を教えてもらい、とてもおそろしいことに改めて気付きました。また、実際に戦争に行った人のビデオ話を聞きちやんと知ってあいてよかったなと思いました。私が原爆のことについて教えてもらって思ふことは、一つの原爆で人間がこんな簡単にたぐひをうってしまうということです。ビデオを見た、ビルの階段に座っていた人が、原爆が落ちてすぐに姿が消えてしまい、灰になってしまったり、原爆で大きなやけどをしてしまった人が、皮膚がぼろぼろになって、手で上に上げて歩いていたりとても今では想像できないことがそのとき起こっていたこと。人の体が「生きているか生きていないのか、分からないくらいとてもおそろしかったのだ」と思いました。原爆の資料を見ながら説明をしてもらったときの「一つで5人に1人が亡まっているというのを知り、とても人事ではないな」と思ひ、今、自分たちが生きている時代は戦争がなくてよかったなと思える時代をつくらなければなりません。そのためには一日、一日を大切に毎日家族といられる時間を貴重に過ごさうにします。また、二度と戦争をこのようなおそろしいことを起こさないように未来へと私たちが伝えていきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、戦争は二度としてはいけないものだと改めて思いました。私は、今まで祖父などから、戦争はしてはいけないものだというとは聞かされていたけどなぜしてはいけないのだろうと思っていて今日の授業で戦争をしてはいけない理由が分かったと思えました。戦争というのは兵隊の人ではなく戦争に直接関係のない女性や子供も傷ついていくものだと思えました。私の祖父母は広島に住んでいるので何回か8月6日に原爆ドームに行ったことがあります。また、今回のお話しの中でも知っている地名や場所などの名前が出てきたのでとてもびっくりしました。私は、今、戦争の調べ学習で原爆のことを調べているのでとても興味があったし、貴重な経験だと思えました。それに、戦争は実際に経験した人でないと分からないもので想像で語るものではないと改めて感じました。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生のおかげで原爆のことを少しでも知ることが出来ました。原爆のせいで大勢の人が犠牲になりとても悲しいです。原爆のビデオを見てあんなにすごいのだと知りました。池田義三さんが泣いているビデオを見て原爆は池田さん以外にも大勢の人達を苦しめたのだと思いました。私も想像しながら聞いてとても悲しくなりました。けど生きていた人々もいたのでもとても良かったです。池田義三さん達はドラムかんの所にてとても良かったですと思いました。私は社会で原爆のことは少し知っていましたが改めて知れて良かったです。私はお話を聞いて池田さんが助けた人達は池田さんにとても感謝していると思います。私はこんな池田さんがとてもすごいと思いました。私は原爆についてテレビやネット教科書を見ましたが実際に聞くとテレビやネット教科書とはちがう感情があらわれました。長崎の人も広島の人々も、とこわい思いをしたのだと思いました。今日原爆のことについてお話を聞いて原爆は苦しく、悲しく、こわいというのを知りました。私達が知ったように他の世代にも伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、池田先生の話聞いて、改めて原爆の悲惨さを感じました。テレビで見たり本で読んだりしたことはありましたが、ここまでくわしい話は聞いたことがありませんでした。

特に印象に残ったのは、火暴心地近くでは人が一瞬で炭化して消えてしまったということです。原爆の威力はすさまじいということは知っていましたが、それほどのものだとは思っていませんでした。それに、生き残っても火傷を負って苦しみながら死んだり、後遺症で苦しんだりするため、非人道的で恐ろしい兵器だと痛感しました。

このような兵器を生み出したのは科学の科学の力です。ぼくの夢は科学者になることなので、今回聞いた話を忘れずに、科学を戦争などの悪いことに使わないようにしなければなりませんと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講してあらためて戦争はしてはいけない、核兵器を作てはいけないと思いました。理由は、原爆を落下すると人々がやけどで皮がただいて周りにはほえが飛び、虫が傷口にわたり見るのも悲しい姿になってしまうから。特に印象に残ったのは、原爆が落下したときに一瞬間で人がいなくなってしまうこと。階段に座っていた人が熱線と暴風で階段に黒いあとだけが残っている写真を見て背中がゾーとなりました。それと広島に落とされた「リトル・ボーイ」が600m上空にいるとき地上の温度が3000℃もあったことを初めて知って本当におそろしいものだったと思いました。最後の動画で泣きながら話しているのを見て話を聞いただけでもゾーをするのに泣いているということは自分が想像したこと以上に悲しかったということがそのごく伝わりました。私は、これからこの原爆について、知らない人たちに伝えていきたいと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは、この原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して、こんなひさんでおそろしい事を二度とくり返さないように、後の世代に戦争などはしてはいけないということも伝えていこうと思いました。今年から年生は「歴史を見つめるといふ中」で元々戦争について調べています。ぼくは「戦時中の暮らし」について調べていて、原子爆弾については調べていなかった。なので原爆についての知識がつかえました。今回の授業でぼくは、すごくおどろいたことがあります。それは、ゴルフボール1に分のウランで太陽より強い熱で広島を壊滅状態にさせたことです。ぼくは、日本が戦わずに平和主義になったことがすごくよかったです。そして世界が平和になってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生のお話を聞き終わった時、悲しい
や、「ひさんだと思った」などの一言で表せる単純
な気持ちでなく、この世の言葉で言うことのできない。
今まで経験したことのない思いをいただきました。
今、学校で太平洋戦争について調べ、まとめたこと
を五年生に伝えるという学習をすすめています。しかし、
原爆先生のお話を聞いて伝えていくことも大切ですが、それ
以前に自分が太平洋戦争に興味を持つことが
大切だなと思いました。これから、学習をすすめて
いくなかで、戦争とはどういうものなのかをもう一度
ふり返ってじっくりと考え、くわしく調べていきたいです。
私は、広島市の原爆史料館に行ったことがあります。
小学校低学年のころに訪れました。その時の
記憶で、一番くっきりと思い出せるのは、とても人間とは思
えない、女性の人形です。その時私は今暮らしている
平和な日本に住む人と、目の前の女性の姿がどうしても
結びつきませんでした。今もあいまいです。しかし、戦争を
経験した方から見れば「きれいすぎる」と思うのだと知り、
経験した方しか知らない現実がある、ということを知る



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくはこの話を聞いて当時の人々の気持ちや分かった様な気がしました。当時の様子をあらためて知って、この時代に生きていた人戦争をからてに一部の人が始めて苦しい生活をしなければいけなくてとてもつらかったと思います。兵にされたり働かせられたりしてさらにつらかったと思います。彼女は国のためにがんばり続けたのに8月6日原爆が落とされて広島の人々の多くが被害を受けました。人々はいままでがんばっていたのにたった一つの災いだけで身も心もボロボロになってしまったと思うし、なにもいえない気持ちになりま。あ、当時の人は家も家族も友達もなくしてしまって想像できないような悲しみ、苦しみをしていたか、いかにががんでいたか、いかにその思いを胸にはたしてががんでから今の日本があるか、と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はこの原爆先生の話を聞いて言葉にならないほどの苦しみを知りました。最後に見た原爆先生のお父さんのビデオが特に強く心の中に残りました。原爆ドームの近くにある資料館で言った「きれいすぎる」という言葉がその前の池田さんの体験談の話で私は戦争を見たり、体験したこともないのにその気持ち分かる気がしました。本当はもっとボロボロなのにとかもと傷だらけなのにと思ってたかもしれません。泣きながら話してくれていてよりつらかったことが分かりました。また、うでを引、張ろうとすると皮がむけてしまうという事実を知りそのことは本でも書いていなかったことで私は自分の知らない事からで満ちているそう思いました。本だけでは語られていない事実や苦しみがさまざまに人に知ってほしい、感じてほしいと思いました。昔はふつうな生活を送るのも苦労していたのに今ではふつう以上の生活をしている人もいます。そんな平和な日本が長く永久に続いてほしいです。またこのようなひさんな体験がなくなる日本であってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/27

ぼくはこの特別授業を受講して、原爆^などの爆たんはあってはならないと改めて
 思いました。実際にはぼくの祖父は、三回
 戦争をしました。その祖父からたくさん話を
 聞きました。そして、池田先生のお父さん
 の話を聞き、どちらも、あこく辛い話でした。
 戦争は、何にもいいとかなない戦いです。
 どちらにもいいやなことが起きるので
 そんな中か、い発された原爆は、なくして
 しまいたいです。また、世界には当時のよりは
 強かな、原子爆たん、水素爆たんがあ
 るのでそれも、なくしていきたいです。最後
 池田よし三さんのビデオで流していたなみた。
 それは、この原爆の悲しさ、苦しさをものか
 たっていました。そのビデオでぼくもなん
 だか胸が悲しさと苦しんで、いっぱいにな
 りました。これから二度とこんなことが無い
 ように、後の世代にも、この戦争やその中で行っ
 た原爆のひきつらさを伝えていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は学校で原爆などを言っていました。そこでは、悲こんたなとか、おやっではいけない、など今思うと、大抵でもいえるような思いだと思いました。この特別授業を受けて、すく生き生き、悲こんたという物をこえた、なんともいえず、どう説明すればいいか分からない気持ちになりました。この授業では14万人もの人々が命をうけたということ悲しく思います。特に心の中に残った話は、2つありました。1つ目は兵隊いさんが被爆者の手をつかみトラックに乗せているという話です。人々がどれだけ原爆で苦しみをこらえていったのか、一度も体験したてのな気持ちで心の中で今うめつてされています。今その話を思い出すと痛しくあの気持ちでいっぱいです。2つ目は最後の広島に行、たてまの言葉、そして約5分間の動画です。動画では、泣きぐれながらも原爆について話しているところを見ると、私たちには、想像できないほどのものかと分かります。私たち子供、若い人たち、戦争について知らない人たちに必死に伝えるようとしているのだと思いました。その中でも広島に行き、人形を見て言った言葉が心の中に残ってあります。「こんなキレいじやない、その言葉で聞いたら（泣）か」とした、感情をもちました。それは、さつぷ、悲しさなどといった感情とはるかにこれこそか、なんと言、ていいか分からないというものでした。このことは、また体でも覚えておきます。この長い人生の間に誰かの人に伝えたいでいきたいと思、います。このたか、は、特別な授業していただき、たてまことにありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆先生の特別授業を受講して、とても複雑な気持ちになりました。原爆によって広島市の人口の40%もの人かなくなり、皮膚がはがれ、肉が見えるということを知ったとき、いいようのないショックを受けました。また、現在はその1000倍もの威力をもつ原子爆弾があることを知って、恐ろしくなり、人間がそのようなものをつくらせてしまったことに怒りも感じました。前からずっと原爆のことについて勉強してきましたが「かわいそう」といふ優しい言葉では言い表せず、言葉を尽くしても表現できない原子爆弾は、全てを「無」にしてしまふと思いました。今では当たり前のように生きて「死ぬ」という言葉を軽々しく言えるようになりましたが、今から70年前の戦時には生きてくても生きられず死んでしまった人たちがいるということをおぼえてはいけないうちも思いました。原爆投下は人間にとってしりかえしのつかないことであり、人々の生きたいという気持ちや、建物、未来など全てを消え去ってしまふ「無」にしてしまうことを感じ、自由に生きられる自分の命を大切にしていかなければならないと考えました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆の事についてお'矢口え
 ていたときありがとうございました。広島に
 落下した、原爆(ツルホーイ)をみてとても恐怖
 感がたまりませんでした。原爆を何ヶ広島、長
 崎に落したのか、分かりませんでした。これによ
 り多くの人が犠牲になった時、ぼくは心
 ほろいと思いました。なぜ原爆を落とすこと
 になったのかも矢口たいです。ビデオでも
 出たように会社が開くのを待っていた
 人が消えたのか、本当だと思ったときま
 た恐怖感がさらに上がりました。丸い
 球体のまんなかの温度が100万度、外側
 の温度が7000℃と聞きとてもおどろま
 しました。ぼくは広島原爆もとても怖い
 と心の中で思っていました。そしてエノラケイ
 とは何かも全く分かりませんでした。
 そしてそのあとついに分かりました、エノラケイ
 母の名前だと言、事も分ったのかと思

ま、今日は原爆について知ることができた、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は今回の特別授業を受けて
 自分が思ったことはなせ"同じ生物の人間
 なのにこうもたやまあやめてしまうのだらう
 と思いました。池田さんがいっていよいよ
 に単戈争のことはせうたいにわすれてはいけな
 いと言っていたことが自分の中にものすこくつたわってき
 ました。単戈争はもちろんや、ちやいけないけない
 それだけでなく単戈争が生きのこった人たちが何
 をつたえようとしたのかが大事故だと思ひました。
 自分は単戈争を体験したことがなかつたけど
 この話をきいて何が単戈争と言うことはあまり
 言葉にならしてわいけなないものなんだとおぼてめて
 じかんしました。自分には94歳のおばあちゃんか
 いて単戈争のことについてはいっさいはなしてはくたがた
 けど、今はそのときを思い出してはいないかなと思ひました。
 他の単戈争を体験した人もほんとうにじくの時をた
 えいままこうしておきているんだと思ひました。これから
 は単戈争についてもっとしんけんをしようと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は学校で「永遠の0」という映画で、兵隊として戦地へ行った人々が「後世に戦争の悲惨さを伝えてほしい」ということを考えていたのは知っていました。その上でこのお話を聞きました。私の曾祖父もシベリア出兵を経験したそうです。でも直接私は会ったことがありません。原爆先生のお父さんも、おたくなりにな、て、やはり戦争を経験した人は少なくなっているなと思いました。先生が体で表現して下さい、大きさをもので例えて下さったので、わかりやすかったです。原子爆弾の中にあるウランのうち、ゴルフボールほどの1kgのウランで広島を焼いたと聞いたとき、言葉にならないような気持ちになりました。また14万人の尊い命が消えてしまったと聞いて、心の中頭の中が真白になりました。今の平和な日本から考えると、70年前、日本でこんなことがあったとは想像できません。世界の国々の中ではまた紛争や戦争がたえません。戦後70年、現在の日本に住む私には、不自由もないし、空襲などによって命をうばわれることはありません。生きたくて生きれない70年前の人、生まれるのに生きない自殺する子ども、すぐ死を言葉にする子ども、70年前と現在では比べものにならないほど違うなと感じました。これからもお体に気をつけて活動を続けてい



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

たのし

わたしは、原子爆弾とはどのようなものか
分かりませんでした。この話を聞き、原爆
は、ものすごく熱く、土壌は7000℃とい
う太陽よりも熱く、爆心直下は3~4000℃
で死亡率がすごく高く、爆弾は、絶対^{ぜったい}に作
ってはならない物だと思いました。
そして、池田さんは、大変だろーなと思っ
た。それに、熱い中だろーなと思っ
た。この話は知らなかったことがた
くさんあった。とても勉強にな
ったし、ものすごく熱いとい
うことがわかった。ので、
身近な人に教えていきたいと思
いました。そして、原爆は、と
ても危なく、もう絶対^{ぜったい}
におこってはならないと改
めて、思いました。そして、
原爆病になって、今でもな
っている人がいると聞いた
ので、それほど大変な思
いを感じた。かおいそう
だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆とは最初、ただたんに「怖いな」と感じていました。しかし、この授業で、実体験した方の気持ちが糸且みとれ、体験した人にしか分からない、苦しみや幸さが分かりました。話を聞いていて、その場面を想像していると、言葉にできないほどの感情が込み上げてきました。17歳という若さで兵隊に招集され、原爆が落ちた後の復旧作業にあたり、元山川で死体を運び、最初はいやだなという気持ちがあつたけれど、これは軍部の指令と思うと、やらなくてはならないという気持ちになつたと思います。自分だったら、なせ、僕がやらなくてはいけないんだ、そんな気持ちだっと思います。戦後70年がたち、明るい太陽の光は毎日のように降りそそぎますが、70年前の8月6日は、一瞬にして、多くの命と光がなくなりました。「10000名の少年」この名前をタイトルにして、8月6日からの9日間を表しました。今まで空襲がなかったとして原爆など落ちるはずがないと思っていたと思います。今も世界では戦争が繰り返されていて家がなくなつたりしています。けれど日本は戦争の悲しさを矢張り二度と戦争をしないと思います。これから平和な日本で、明るい光をあびて生きたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業を受けて戦争や原爆はとしても悲惨なものだと改めて感じました。そして今の平和な時代に生まれてとても幸せだと思います。もし日本が戦争をしている時代に生まれていたらこんなに幸せな今のような生活はできていなかっただろうし、もしかしたらもう死んでしまっていたかもしれないと思うと切ない気持ちになります。今日の授業を受けて皮膚がはがれおちるなど、灰になてしまふなどの被害を受けました。しかし当時は原爆を広島と長崎の二つ落としたから被害もとても大きかったと思います。戦争は多くの人が死んでしまうからってはいけないうのはあたりまえですがこれを戦争をあまり知らない人に伝えていかなければいけないと思うのでこれから伝えていきたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/27

先日は、大変お世話がしい中、特別授業をしていただきありがとうございました。ぼくは原火暴先生の特別授業を通して、原火暴の悲さんさがくわしく分かりました。そしてその当時七くなっていた人達ゆのことも考えると少しづつが苦しくなります。それは広島市人口、35万人のうち、14万人が七くなっていたからです。おそろく七くなっていた人達はいつもの日常をくり返していたと思います。なのでぼくは原火暴先生の特別授業を通して、いつも通りの日常が一瞬間にしてうばわれてしまうことについても怖く、おそろしいと思いました。また、原火暴先生の特別授業で原火暴の悲さんさが少しだけ分かった。なので、原火暴のよな核をもつ国が日本の非核三原則「核兵器をもたない、つくらない、持ちこたない」をまねしていき核兵器をもつ国がなくなればいいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは核兵器は使っては絶対にいけないとあらためて思いました。なぜなら原爆は一瞬にして、たくさんの方の命をうばってしまうからです。生きているだけでも放射線などで長い間苦しめられてしまうからです。

原爆の体験をしたときは、原爆によってまわりの様子や人までも変わってしまっていて、原爆がほんとうにおそろしいものだとわかりました。原爆のはなしを想像しながら聞いていたが、被爆された方は「兵隊さんたけて」といいながら、むしろトラックにのぼろうとして、でも怖れなくて、苦しみながら、道にころがっていて、そんな人を見ながら、たすけてあげられなかった兵隊さんは胸が苦しかったのだと思いました。

原爆資料館での写真の投下後のもけいで、みんなのもけいがかんじられていて、それでもひどいのがたつたのに、それでもこんな生やさしいものじゃないと言っていて、原爆のいやさは、すごいものだと、たのだと知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の話はきくうちに作り話ではないかとうたが
てしまうほど、とてもひさんなものでした。本当にゾッとしました。
けれど、これが本当にあったことだということを思うと、なにか
不思議な気持ちでした。ですがただ一つ思ったことは「人類は進歩
しすぎた」ということです。これは、どうしてかという、原爆につまれ
ていたウランという物は、10%も燃えていないのにここまで
力があつたとおじえていたたきました。ですがこれが100%の力を出
させる技術が今はあります。そして、それ以上の力をもつ物を世界の
多くの国々が保有している事実。なぜ、このようなことがおこ
ったのに、こんな物を作るのがもうよく分かりませでした。
そもそも、人間はこんな技術をもてしまったのかと思います。
人は何億年の長い時間がかか今の状態になりました。ですが、ここまで
技術力が上からなければ、このようなことにはならなかつたと思
うからです。というより、それくらいなかつたと思います。そのくらいのこと
でした。だから、こうゆうことをまだ戦争について考えたことがあまりない人
たちにつたえていき、原子爆弾のつなものをかない世の中を手紙で
安全な世の中をつつていくべきだと思いました。原爆先生
このような貴重であつたにきにとの出来ないお話をしてくださり
本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆を調べたことがあるけれど、じっさいに体験している方と記録では、すごくちがうんだなと思いました。先生の話聞いていた時、頭でそのスクリーンを思いうかべました。悲しめをこえて、恐怖があらわれ、地獄の底からさけびが聞こえてきました。頭のスクリーンを見ていましたけれど、すごく心がビクッときます。このいっしょんの原爆のいかにこの世を去った人が多数います。かわいそうとは言えなく、かたまってしまいました。戦争は、私たちが知らない恐怖を知り、私たちは幸せなんだ、と思いました。

現在の私たちの空は、明るくて、気持ちがいい。風がふいています。しかし、戦争は、暗くて、ガワガワとした風がふいているように思いました。昔は生きたいと思っているけれど、今は死にたいと思っている人もいます。だから私は、命を捨てずに、人生を歩もうと思いました。外は暗くてガワガワしているけれど、心の中は、希望に歩もうとした人がたくさんいるんだな、と思いました。だから、私の今の暮らしを昔の人たちのためにも、笑ってすごしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆が広島や長崎に投下されたことは知っていました。広島には8月6日午前8時15分、長崎には、8月9日午前11時2分に投下されたことも知っていました。お母さんから、原爆の話をとくさん聞いていたので、初めて知ることには少ないだろうと思っていたけれど、町が灰色の世界になってしまい、広島市から色がなくなってしまうことは初めて知りました。広島に投下された「リトルボーム」にはウランが60kgも積んでいたのに、燃焼したのはたった1kg。広島市が吹き飛ばしほどのいかりがあり、3000℃以上の熱線て人間がお化けの様になってしまうと聞いて、手の震えが止まりませんでした。一瞬でとくさんの尊い命が失われてしまったことに胸が苦しくなりました。今から70年前、生きたくても生きられなかつた人たちのためにも、自分は一生懸命に生きなければならぬと思いました。体馬喰したことはないけれど、町から色がなくなってしまうこと、音がなくなってしまうことはこわいことだと思いました。これらのことを、次の世代に伝えることは大七刀だと思ったし、今も後遺症で苦しんでいる人のことも伝えようと思いました。戦後70年、今忘れかけていることを自分から知るようにし、伝え、未来に語られ続けるようにしたいです。今を大七刀に生きようと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆の話を知り、今までは「戦争はしてはいけない」「戦争は悲しくて辛い」というのは、きりとしてありきたりな思っていたけれど、そんな言葉で表せるようなものではない複雑な思いに自分はなった。たしかに戦争はしてはいけないものだ。けれどその思いのもう一歩いった表現で「まじいような感情で」この気持ちはまだ知識をもっていることだけじゃわからないようなことだと思ふ。実際に戦争にまきこまれた人の気持ちや当時の被害がどれだけだったか聞かなければわからないものだと思う。しかし、そんな戦争体験者も残り少なくなっていて伝えていく人がこのままではいなくなってしまう。だからこそ自分たちが知識を学び当時の人たちの表現でどのような気持ちを理解し、使命感をもって後世に伝えていかなくてはならないと思った。ただ「戦争はしてはいけない」ということを伝えるのではなく、当時の人々が「どれだけ苦しい思いだったか、大切な人を失ってどれだけ大きく悲しかったのか」を伝えることも大切にしていかなくてはならない。また、目の前にけがをして苦しんでいるのに助けられないくやし、むなしさが頭の中では、到底どうかひ、小さな幼い子まで「まきこまれて命を失うこと」にとても表せないたくさんの感情が混ざった気持ちが生まれた。戦争への腹立ちやむなし、大切な人を失ったことへの悲しみ目の前で苦しんでいる人を助けられないつらさは

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

これから一言葉ではあらわせないなと思う。それに戦争当時の人々は自由な生活までまきこまれたことと比べて私たちは天と地の差があり、これからは当時の人々のつらさを忘れないで、当たり前のあるお世をありがたく思ふ、こ生活していきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくはあまり原爆のことが分からなかったけれど原爆先生の特別授業を受けて、広島
 の原爆はアメリカからぼくだんを落としたとき
 人の命が死んでしまったり被爆者もうえと
 てもかこいなんだなと思いました。当時は死
 者が14万人で被爆者は24万人もいました。広島
 の人口が35万人もいて、そこからほとんどの人が亡
 くなっていったので原爆で助かった人は少ない
 だと思いました。ぼくがいはおどろ
 いたのはとても強い光が四方を照らし、人のひら
 がとけてはがれ落ちていき助けを呼んでもたれも
 いないのでとても悲しくなりました。広島原爆の授業
 のさいこのビデオで池田さんが泣きながら話してい
 て昔のことがとてもつらかったんだなと思い
 感動しました。今はとてもうつろに生きているの
 に原爆では人が生きられるのか奇跡だね
 と思いました。これからももとの平和に争い
 がない暮らしにしたいなと思いました
 た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞き、今まで戦争について色々調べてきたが、初めて知った事がほとんどでした。原爆が多くの人の暮らしをうばい、一瞬にして町を変えてしまうことなどこんなにも恐ろしいことということは考えてもいませんでした。しかし、原爆についての話を聞いた後に、原爆が投下されるまでの映像を見た時普通に生活をしている中に、だいに原爆が近づいてきて「早くにげて」と思いました。爆心地の近くにいた人々は何かおきたのかわからないまま被爆されたと思うと本当に今私たちが暮らしていることはありがたいことで幸せなんだと思いました。また、池田さんが体験したことを語っていただきその様子をずっと頭の中で想像していました。想像するだけでも恐怖を感じたのに、それを実際に目のあたりにした池田さんの気持ちは私にはとても考えられませんでした。こうして毎日学校に通い、友達と会い、不自由なことがない生活をおくることができていることに感謝をしなければならぬと思いました。もう二度と70年前におこした日本の大きな過ちがおきることなく、平和な毎日がいつまでも続いてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、私たちが、原爆のことを、次に伝えないといけないと思いました。原爆と聞いたときは、上からばくたんか、降ってくるた'けた'と思っていました。た'けど'原爆は、上から降ってくるた'けど'ではなく、そのばくたんか'はくは'して、ばくたんのあつさが3000℃だったりするところがわかりました。鉄がとけるのは、1500℃た'けど'、3000℃た'ったら'人間も生きていけません。私は、人間か'灰'になるとは、思いませんでした。しかも、人間か'灰'になるのには、わずか一瞬でなるとは、思いませんでした。人間か'生まれる'のには、何日時間もかかるのに、原爆た'く'わずか一瞬でなくなるということは、おかしいと思いました。私は、原爆の事を、知って、もう原爆で人がなくなる。世の中には、もうしたくないと思いました。しかも、原爆があり被害を受けたのは、24万人もいることを知りませんでした。また原爆で亡くなった人が14万人もいることも知りませんでした。私たちは、原爆にあつた人の話を聞けたた'けど'、これからは、原爆にあつた人は、いなくなってしまう。原爆の事を、聞いた私たちが、た'から'こそ、原爆の悲しさなどをこれから次の世代につなげていけないと思いました。世界か'もう'二度こんなあやまちをせずに平和に生きていけたらいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はこの原爆先生の特別授業を受け、教科書、本などで調べたことよりも深く、また実際の悲しさを知ることができました。私は5年生の夏休みに広島県へ行き、原爆ドームや資料館へ行ってきました。原爆ドームは建物の中が空どうだったし、資料館では被爆した人を再現したものなどを見ました。私はその被爆した人を再現したものを見て、人間には見えないと思いました。しかし、池田さんのお父さんは実際にもっとやけどをした人や、手をさわたらやけどした皮などが「バリ」ととれてしまったのを体験したと聞き、今再現しているのは戦争当時よりも残こささが足りないと思いました。また、手をさしのバたら皮がとれたり、せこな人をついだりと私だったらこわくて絶対に出来ません。今回授業を受け原爆の本当のこわさを知ることができ、もっと知らないこわさがあるのではないかなと、もっと戦争当時を生きた人の話を聞きたい、もっと本当の原爆のことを知りたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は、おそろがしい中、私たちのために特別授業をしていただき、ありがとうございました。私たち六年生は、今戦争のことについて調べています。2月の末に五年生に、調べたことを伝える予定です。今までは、戦争の悲惨さを後世に伝える、ということを中心に、本やパソコンなどで調べてきました。しかし、原爆先生が話された、池田さんが体験した実話を聞くと、後世に伝えていくことだけ、私たちがするのは、物足りないような気がしてきました。お話の中に出てきた言葉の中には、想像するだけで鳥肌が立つものもありました。また、映像で原爆が落とされた場面でも、私は鳥肌が立ちました。その時の感情は、言葉では表せません。荒地の中を歩き、死体を目のあたりにした池田さん。何も悪くないのに、原爆で死ななければならなかった多くの人々。その思いを考えると、言葉では表せないような感情になりました。私たちは、これから今回のお話をもとに、戦争のことを調べていきます。世界の平和を願い、戦死した方の思いをくみ取ることが大切だと思いました。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、広島に投下された「トルボム」には、パラシュートが付いていて、風によって運こばれたんだと思っていました。しかし、原爆先生が、パラシュートをつけてきたのは「ラジオゾンテ」で「トルボム」は、パラシュートを付けてはないと聞き私は、インターネットなどで情報をしるのではなく、語り手や、戦争をたいけんした人から聞くのが一番正確な情報がしれるので、授業を聞いてよかったです。この話を聞き、最初は、このような話を聞くのがはじめてで、こわいなと思ったりしていました。しかし、後半になると、何とも表わせないふくざつな気持ちになりました。昔は、国民全員が戦争のこと一色で、自分が生きることが「せいりっぱ」だったのに今は、簡単に死にたい、だれかを殺したいなど言えて、今の社会は昔に比べてよゆうかです。思いました。最後に映そうで、言葉につまりながらも、あしに言葉にあかわして、池田さんの気持ちが伝てきました。この話を聞いて、胸がくるくなりました。これからは、原爆先生のように、語りついでいかなくてもはいけないと思いました。大人になっても、今日聞いた話をわすれずに、そして語りついでいきたいと思しました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争についての勉強で広島長崎の原爆について調べていた
が、今日の特別授業でよくわかることができました。

今日お話を通して、私は改めて戦争のみなさまの苦しみを後世に
つながないといけないと思いました。お父さんが当時兵隊さんをや
っていて、その時に書いてた日記をもとにしていたお話はすごく胸
に刺さりました。お話では、お父さんが2班の仲間とともに、被爆
地での作業をしていた、被害者などの「助けて」という声にたえないが方
法がなくなるとお母さんがお父さんの気持ちに胸が痛くなった
と思います。大変な仕事や少しやな仕事でも、しっかりと仕事を最後
までやっていてそれが何日間も続いて苦しい思いをしたと思います。

私も広島市の原爆ドームを見たり、資料館などに行き実際に見てき
ました。資料館には当時のことがたくさんあり、それらを見たときも胸が
痛くなりました。原爆ドームも被爆地の1つであり大きな被害を受けた建
物が世界遺産になり、すごく苦しさを伝えていると思いました。最後に
お父さんが苦しみや言葉をつもらせながらお母さんへ話したときにすごく感動
しました。お父さんが私たちに伝えてくれたことのおかげで私も後世に
伝えていきたいです。今日は貴重なお話をしてくださり、本当
にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

1/27

僕はこの特別授業を、体験者の身になって聞いていました。原爆を落とされてからの9日間、想像するのがいやになるような話ばかりで胸が苦しくなりました。何とも言えない気持ちです。義三さんの気持ちだけじゃなく、亡くなってしまった人、苦しむ人々、全員の目線になって聞いてみました。言葉で表せないつらさでした。原爆ドームにある大げとになつた女性の模型を見た義三さんの感想「きれいだの四字、僕には分かりました。

僕は、この特別授業が終わってから教室にもどるときなんとなく「やば」としか言えませんでした。

今日で僕は生きていることの意味なぜ自分がここにいるか全てのピースがうなづいたよな気がしました。

今日はいい体験ができました。今日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、ほくはあまりにも言葉に
できないことを聞き、戦争の苦しさを改めて感じました。
ほくは、ある程度原爆先生が来てくださる前に
調べたけれど先生から本当の実話を聞き胸が
苦しくなりました。今では自由に楽しく暮らあかあ
たり前だけれど先生の話を聞き今の生活が
豊になりました。70年以上の前は今の生活と
は逆のものすごくつらい生活が本当だけ
と、そのように思えます。また、今の生活がど
れだけ豊かかを知り今の生活を前よりも大
切にしていこうと思いました。ニュースで
小学生が自殺してその理由を聞くと、
たしかにそんな理由だったら生きているの
いやになっちゃうよね、などと思っていた
けれど先生の話を聞いてやっぱり命は
大切だなと思いました。今回はこんな
ぬたにない貴重な体験をさせてもら
い本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて自分たちが今、平和で豊かに暮らしているのは戦争があったからなのではと感じました。今、学校の授業で戦争について深く学んでいます。原爆先生のお話では少しのわい部分もあつたけど原爆にまきこまれた人や兵隊に行つた人などもとにわい経験をしてきて自分は亡くなつた人はどんな気持ちでいたのかかとても分かり胸が痛くなり頭が真白になつてしまつた。池田さんは原爆にまきこまれた人をあきらめずに必死に探し続けにおいがきつても関係なく足をけがした人を手当てし救つてあげたのが一人でも多くの人を救つたといふ気持ちが伝^あつてきました。これからも私たちは戦争について調べていき、次の学年へ戦争の悲しさ、そして戦争にいた人々の気持ちを教えていきたいです。次の学年だけではなく日本中、世界中の人々が戦争について学んでほしいと思つました。今、私たちが戦争もなく、平和で豊かに暮らし、友達と遊べることを忘れずにしたいです。今回は貴重なお話を聞かせてくれ本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、本当に貴重といたしますが、これから二度とないような特別授業をしていただき、ありがとうございました。義三さんに聞いた話だと思っておりますが、本当に自分が体験した話のようで、戦争の非惨さやたおれている人を助けることのできない、胸がしめつけられるような苦しさ、話して下さったすべての情景が頭にうかびました。何も関係がない人の命までもを一瞬にしてうばってしまう原爆のおそろしさを目のあたりにしてぼう然と聞くことしかできませんでした。話の途中では、自分自身義三さんの苦しさやまた「残っている「助けて…」の声などを想像し涙ぐむ場面もありました。また、話の途中途中で天を見上げそらっしやる池田先生を見て、天国の義三さんの偉大さをもっと知ることができました。ぼくたちが大人になっても戦争をわすれない気持を頭にずっと残して、平和な世界であるように願っていたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

ぼくは、この機会を通して、今まで教科書の中
 では、学べないかぎりある中で、こうした、特別
 授業を受講して、原爆の怖さ、おそろし
 さを、しりました。ぼくは、一番ゾ、としたのは、原爆は
 太陽よりもあついということ、3分ていどのDVD
 でこのころに生きている人は、ひび原爆の怖さ
 におびえていたのだと思います。「リトルボーイ」のクラン
 がゴルフボールに分で3分ていどのDVDでみた
 ようになるとは、おそろしいことだと思いました。さいき
 ん、中国で水爆の実験をしていましてが水爆は
 原爆の倍あるときいたことがあるのでとにかくぼく弾
 は、作れないと思っていたけども、とそのまぢが強
 くなりました。憲法第9条の平和主義で非核
 三原則には、核兵器を、もたない、つくらない
 もちまはさないがあるけど、やいいつ、被爆国の日本
 だからこそ言えることだと思います。池田眞徳
 さんの父様は悲しみにたふ兵隊として働か
 いたのがすごいと思いたしぼくたちにけだしている
 と思いたし、父様のごめいをおひのりします。

隊兵隊



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はたくさん人の命を奪って、まった絶対に使っ
ていけない爆弾であるといふことしか知らなかった。
だが今回の授業で原子爆弾のいかに人々のあり
様、人々のあり様を見た人の気持ちをいろいろな
ところで感じる事が出来たと思ふ。

よしぞうさんがたまたま見ることになってしまった
原爆による生々しい人々や風景。これらの今住ん
でいる世界とはちがう地獄のような世界で「9日間
もがんばって漏れたい作業の数々をこなす」とか
出来たろうかと自分にといかけたとしても
かえってくる謀は「出来ない」という一言だと思
ふ。なので、僕は昔の人々の強さを伝えるべきだと思
った。なぜならば今の世の中は昔の人が「バ
カおかしな事になってしまふことをなして今の世を
作ってくれたからだ。よしぞうさんが苦しみながら
伝えてくれたメッセージをさつなげ、原爆や戦争
で死んでしまった人の分も生きていける
そんな世の中になってほしいと思ふ。